

EPSON

Epson Edge Print P1

操作ガイド

目次

マニュアルの見方	4	ホットフォルダーを無効にするとき	18
マークの意味	4	ホットフォルダーに設定したクイックセット を変更するとき	18
掲載画面図	4		
PDFマニュアルの見方	5	一度印刷したジョブを再印刷する	19
ご注意	6	再印刷の手順	19
商標	6	印刷後にRIP済みデータを保存する	20
		印刷済みジョブリストの整理	20
メイン画面の構成	7	ジョブを個別に削除する	21
		ジョブを一括して削除する	21
		印刷済みジョブを保護する	21
印刷の手順（ファーストステップ）	10	ジョブデータをファイルに保存する	22
印刷の準備	10	ジョブのエクスポート	22
印刷の手順	10	ジョブをインポートして追加する	22
印刷の中止	11		
		ジョブの基本設定	24
ジョブ設定メニューの機能紹介	13		
ジョブ設定メニューの起動	13	レイアウトの設定	27
レイアウト設定の紹介	13		
カラー設定の紹介	14	画像の必要な部分だけを印刷する（ク リップ）	31
色置換の紹介	14		
クリップの紹介	14		
		ジョブの出力色を置換する	33
印刷/RIPの順番を決めてジョブリスト を並び替える	15	色置換の手順	33
一括して印刷/RIP処理を指示する	15	出力色調整チャートから出力色を設定する	34
順番を決めて印刷/RIP処理を行う	15	色見本を測色して出力色を設定する	37
		設定した色置換情報を流用する	37
		出力色の保存	38
決められた設定で印刷する（ホットフォ ルダ印刷）	16	保存した出力色を使用する	38
ホットフォルダーとは	16		
ホットフォルダー作成手順	16	カラーコレクションの使い方	39
印刷の手順	17	特色の編集/追加	39
ホットフォルダーの登録解除	17	編集/追加の手順	40
		色見本を測色して出力色を設定する	40

インポート、追加した特色を元にして異なる特色を作成するとき	41
不要な特色を削除するとき	41
必要な特色だけを有効にするとき	41
グループの優先順位付け	41
特色ファイルをインポートする	42
特色をエクスポートする	43
色見本を印刷する	43
特色を一括して調整する	44
特色チャートの作成と印刷	45
特色チャートの測色と調整	45

カラー設定 48

入力設定の概要	48
入力プロファイルの設定	48
レンダリングインテントの設定	49
その他のカラー設定	49
出力設定の概要	50
メディアプロファイルの変更	50
インク打ち込み量の調整	51
トーンカーブの設定	51
広色域入力色プロファイルでの印刷結果をデータ作成時に画面で確認する	52

よく使うジョブ設定の作成（クイックセット） 54

クイックセットの作成手順	54
クイックセットの編集	55
作成したクイックセットを流用する	55
クイックセットのエクスポート	55
クイックセットをインポートして追加する	55
クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する	56
ジョブ追加後にクイックセットを変更する	57

使用するメディアに応じたプリント情報を作成する 58

用紙情報のプリント情報を元に作成する	58
印刷品質の編集	58
作成したプリント情報を流用する	60
プリント情報のエクスポート	60
プリント情報をインポートして追加する	61

こんなときには 62

メディアサイズを作成したいとき（カスタムメディアサイズ）	62
グラデーションをより滑らかに印刷したいとき	62
画像に含まれる細い線が印刷されないとき	62
表示言語・長さ単位を変更したいとき	63
記憶装置の使用容量を変更したいとき	63
管理するプリンターの登録・登録解除をしたとき	63
登録と変更	63
登録解除手順	65
インストール後に使用する機種を追加したいとき	65
ライセンスを追加で登録したいとき	66
RIPサーバーのコンピューターを変更したいとき	66
ライセンスの削除手順	66
変更後のコンピューターでライセンスを登録する	67
バックアップとリストア	70
バックアップ	71
リストア	71
本ソフトウェアのアップデート	72
本ソフトウェアのアンインストール	73

付録 74

システム条件	74
動作環境	74
推奨環境	74
対応データ形式	75
対応測色器	75
本製品で使用している技術	76

マニュアルの見方

マークの意味

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連する内容の参照先を示しています。

[プリンター設定] : 操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。

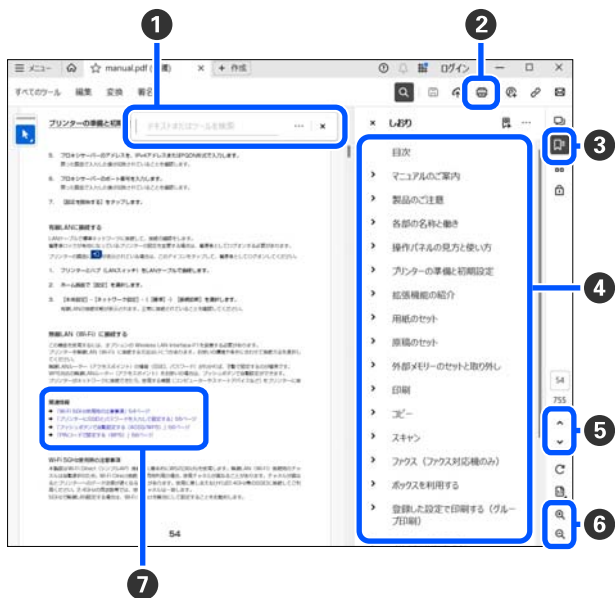
【OK】キー : コンピューターのキー名称を示しています。

掲載画面図

掲載している画面図が、お使いのものと若干異なる場合がございます。また、予告なしに変更されることがございます。ご了承ください。

PDFマニュアルの見方

Adobe ReaderでPDFマニュアルを見る際の基本的な操作を説明します。



<p>①</p>	<p>確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。</p> <p>Windowsの場合 PDFマニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [テキストまたはツールを検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。</p> <p>Macの場合 [編集] メニューで [検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。</p>
<p>②</p>	<p>PDFマニュアルを印刷するときにクリックします。</p>
<p>③</p>	<p>クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。</p>
<p>④</p>	<p>タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。 [>] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。</p>
<p>⑤</p>	<p>前ページ/次ページを表示します。</p>
<p>⑥</p>	<p>表示中の文字が小さくて見えにくいときは [+] をクリックすると拡大します。 [-] をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。</p> <p>Windowsの場合 PDFマニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [+] を選択します。ポインタが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。</p> <p>Macの場合 [表示] メニュー - [ズーム] - [ズームツール] の順にクリックすると、ポインタが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインタで拡大したい箇所を範囲指定します。</p>
<p>⑦</p>	<p>参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。元のページに戻るときは、以下のように行います。</p> <p>Windowsの場合 [Alt] キーを押したまま [←] キーを押します。</p> <p>Macの場合 [command] キーを押したまま [←] キーを押します。</p>

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2026 Seiko Epson Corporation.

商標

Apple、Mac、macOS、ColorSyncは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Adobe、Illustrator、Photoshop、PostScript、Readerは、米国ならびに他の国におけるAdobeの登録商標または商標です。

Copyright © 2026 Adobe Inc. All Rights Reserved.

IntelおよびIntel Coreは、Intel Corporationまたはその子会社の商標です。

X-Riteは、米国X-Rite, Incorporatedの米国および他の国々における登録商標または商標です。©2008 X-Rite, Incorporated. All rights reserved.

i1はX-Rite社の商標です。

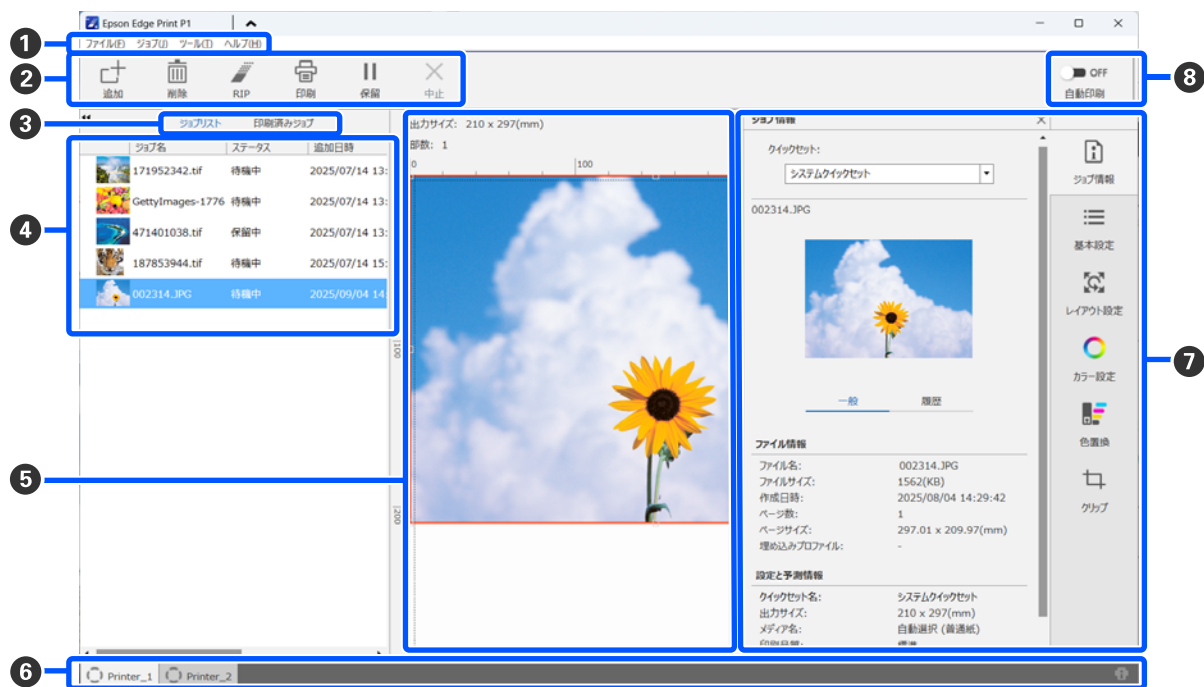
一部のICCプロファイルは、X-rite solutionsで作成されています。

平成明朝 W3、平成角ゴシックW5は財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものであり、許可なく複製することはできません。

通則：その他の製品名は各社の商標または登録商標です。













メイン画面の構成

本ソフトウェアを起動するとメイン画面が表示されます。
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。



	部位名称	機能
①	メニューバー	各メニューから操作や設定が行えます。 タイトル行の をクリックするとメニューバーを非表示/再表示できます。
②	ジョブツールバー	ジョブリスト/印刷済みジョブリスト (④) で選択したジョブに対して以下の操作が行えます。 : ジョブリストに印刷データを選択して追加します。 : 選択したジョブをリストから削除します。 : 選択したジョブのRIP処理のみを行います。 : 選択したジョブをRIPしながら印刷します。RIP済みのジョブを選択したときは、印刷のみを行います。 / : 選択したジョブを保留ジョブにします。保留ジョブは、自動印刷切り替えボタン (⑧) を ON にして自動印刷にしたときの印刷対象から外れます。 保留中のジョブを選択すると、 が、 に切り替わり、保留を解除できます。 自動印刷時に保留を解除すると待機ジョブに戻り順番の最後に印刷されます。 : 実行中のRIP 処理や印刷を中止します。
③	リスト切り替えボタン	ジョブリスト/印刷済みジョブリストを切り替えます。 現在選択されているリスト名が枠囲みされています。

メイン画面の構成

	部位名称	機能
④	ジョブリスト/印刷済みジョブリスト	<p>ジョブリストには、印刷待ちか印刷中のジョブのサムネイルや元データ名、ステータスなどが表示されます。印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。両リストとも以下の操作ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リストタイトル上で右クリックメニューを表示してリストに表示するコンテンツを変更できます。 • ジョブ名上で右クリックメニューを表示してジョブツールバー (②) と同様の操作ができます。 • リストタイトルの左上の  をクリックするとエリアを最小化/展開できます。 <p>ジョブリストのリストタイトル上で右クリックメニューを表示して [ジョブ名の変更] を選択すると、ジョブ名を変更できます。</p> <p>印刷済みジョブリストで  が表示されているジョブは、保護されているため削除できません。</p> <p>➔ 「印刷済みジョブを保護する」 21ページ</p>
⑤	プレビューエリア	<p>ジョブリスト (④) で選択したジョブのプレビューを確認できます。ジョブ設定メニュー (⑦) で [レイアウト設定] や [クリップ] の設定をする際に、このプレビューエリアで確認しながら行います。</p> <p>白い部分がメディアを表しています。メディア幅は、ジョブ設定メニューの  (基本設定) - [メディアサイズ] の設定に応じて変わります。メディアの左右端から破線までの間隔は、余白です。</p> <p>スケールで印刷位置を確認しながら配置できます。スケールの単位 (mm/inch) は、ツールメニューの [環境設定] で変更できます。</p> <p>➔ 「表示言語・長さ単位を変更したいとき」 63ページ</p> <p>プレビュー画像をドラッグして印刷位置を変えることもできます。</p> <p>プレビューエリア下方の  をクリックするとプレビューエリアの表示を縮小/拡大できます。  をクリックすると、プレビューエリアの表示幅いっぱいになり、現在設定されているメディア幅が表示されるように自動で拡大/縮小されます。拡大/縮小印刷を行うには、ジョブ設定メニューの [レイアウト設定] を行います。</p> <p>➔ 「レイアウトの設定」 27ページ</p> <p>エリア右上の  をクリックすると、エリアを最小化/展開できます。</p>
⑥	プリンター切り替えタブ	<p>本ソフトウェアに登録しているプリンター名とプリンターステータスが表示されています。タブをクリックして操作対象のプリンターを切り替えます。白色のタブが、現在操作対象になっているプリンターです。</p> <p>ステータスアイコンの意味は、次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">  : 印刷可能状態 (待機中) です。  : 印刷中です。  : 警告等が発生しています。  : エラーが発生しています。  : ヘッドクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。  : 電源が入っていない、または接続されていません。

メイン画面の構成

	部位名称	機能
7	ジョブ設定メニュー・設定エリア	<p>ジョブリスト (4) で選択した待機中ジョブの印刷やレイアウト、入出力プロファイル等の設定を行います。</p> <p>右側のアイコンがジョブ設定メニューです。選択した項目に応じて設定エリアの内容が変わります。</p> <p>➡ 「ジョブ設定メニューの機能紹介」13ページ</p> <p>設定エリア右上の ✕ をクリックすると設定エリアが閉じられ、その分プレビューエリアが広がります。設定エリアを開くときは、ジョブ設定メニューのいずれかをクリックします。設定エリアを閉じているときに、メニュー左の境界線を左右にドラッグすると、メニューエリアを最小化/最大化できます。</p>
8	自動印刷切り替えボタン	<p>ボタンをクリックするたびにON/OFFが切り替わります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ON に設定していると、ジョブリスト (4) に印刷データを追加するだけで順次印刷を開始します。ジョブリストに待機中のジョブがあるときは、待機中ジョブも順次印刷されます。</p> <p><input type="checkbox"/> OFF に設定していると、ジョブリストに印刷データを追加後にジョブを選択して印刷を実行するまで印刷されません。</p> <p>ジョブを複数まとめてRIPしてから印刷するときは、<input type="checkbox"/> OFF に設定してRIP作業を行ってから <input checked="" type="checkbox"/> ON に変更します。</p>

印刷の手順（ファーストステップ）

複数の設定項目の最適値を探り使用メディアに最適な印刷ができるように設定するのは、煩雑で時間も手間もかかり大変です。


ここでは、複雑な登録をせずにプリンターに標準装備のメディア設定値登録機能と本ソフトウェアにあらかじめ登録されているメディアタイプ別のプリント情報を使って、手軽に印刷する方法を説明します。

印刷の準備

動作環境の確認

以下の点を確認してください。

- プリンターとRIPサーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）が正しく接続され、電源が入っている。
- 本ソフトウェアが起動している。
- 使用するプリンターが本ソフトウェアに登録されている。
新たにプリンターを登録するときは、以下をご覧ください。
➔ [「管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき」63ページ](#)
- プリンターにメディアがセットされ印刷可能状態になっている。

プリンターで現在設定しているメディア設定は、操作パネルので確認できます。

印刷データの準備

本ソフトウェアに対応したデータ形式の印刷データを準備します。


対応データ形式は、以下をご覧ください。

➔ [「対応データ形式」75ページ](#)

一般的には、次の理由からPDFをお勧めします。

- 画像のリンク切れやレイアウト崩れがない。
- 文字のアウトライン化が不要。
- 画像処理ソフトのバージョンが異なっても表示に違いがない。

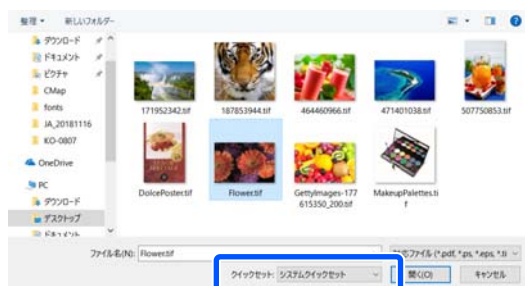
印刷の手順

1. ジョブツールバーの（追加）をクリックして印刷データをジョブリストに追加します。または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。



☰ (追加) をクリックして印刷データを選択するとき、合わせてクイックセットも選択できます。



クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。

➔ [「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」 54ページ](#)

2. ジョブリストで印刷するジョブを選択します。

プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

3. ジョブ設定メニューの☰ (基本設定) をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わりメディアサイズ、メディア名 (プリント情報)、印刷品質などを設定できます。基本設定の詳細は以下をご覧ください。

➔ [「ジョブの基本設定」 24ページ](#)

4. ジョブツールバーの🖨 (印刷) をクリックして印刷を開始します。

印刷中は、ジョブリストの [ステータス] 欄に [印刷中] と表示されます。

印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。

印刷済みジョブリストの使い方は、以下をご覧ください。

➔ [「一度印刷したジョブを再印刷する」 19ページ](#)

ジョブリストに複数のジョブがあるときは、印刷する順番を自由に決めて印刷順にジョブリストを並び替えることができます。

➔ [「印刷/RIPの順番を決めてジョブリストを並び替える」 15ページ](#)



印刷開始前にプリンター切り替えタブのステータスを確認してください。ステータスアイコンが次のどれかになっていると印刷できません。

❌ : エラーが発生しています。

🔄 : ヘッドクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。

🔌 : 電源が入っていない、または接続されていません。

プリンターを印刷可能な状態にしてください。

ジョブの拡大/縮小印刷、画像の一部分のみ印刷、メディア幅よりも大きな画像の印刷は、ジョブ設定メニューで行います。

各機能の紹介 ➔ [「ジョブ設定メニューの機能紹介」 13ページ](#)

印刷の中止

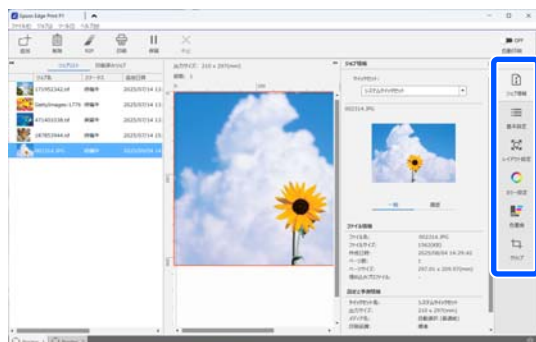
印刷途中で印刷をやめるときは、以下の手順で中止します。







1. ジョブリストで印刷を中止するジョブを選択してジョブツールバーの✕（中止）をクリックします。または、印刷を中止するジョブ名上で右クリックメニューを表示して「中止」を選択します。
2. 確認画面が表示されたら「はい」をクリックします。

ジョブ設定メニューの機能紹介

ジョブ設定メニューの起動

1. ジョブリストでジョブを選択して目的に応じてジョブ設定メニューのアイコンをクリックします。



	(ジョブ情報) : 選択したジョブの設定内容や印刷状態などの詳細情報を確認できます。
	(基本設定) : 基本的な印刷設定が行えます。 ➡ 「ジョブの基本設定」 24ページ
	(レイアウト設定) : メディアにどのように画像を配置するかを設定します。
	(カラー設定) : 入力プロファイルや出力プロファイルを設定します。
	(色置換) : ジョブに特色設定された画像が含まれているときに、その特色の出力色を設定します。
	(クリップ) : 画像の必要な部分だけを印刷するときの印刷範囲を設定します。

2. 選択したアイコンに応じて設定エリアが切り替わります。

レイアウト設定の紹介

レイアウト設定の詳細な操作方法は、以下をご覧ください。

➡ [「レイアウトの設定」 27ページ](#)

拡大/縮小設定

サイズまたは倍率を指定して画像サイズを拡大/縮小できます。

をクリックすると、メディア幅いっぱいになるように拡大/縮小できます。

位置設定

メディアのどこに印刷するかを画像の左上角の座標値（水平・垂直の位置）で指定できます。

プレビューエリアで画像をドラッグしておおよその位置を決めてから座標値で詳細に位置を指定することもできます。

回転設定

回転方向を指定して画像を回転できます。

〔左右反転〕にチェックを付けると鏡像印刷ができます。

部数設定

部数を設定して同じジョブを複数印刷できます。

印刷設定

両面印刷や逆順印刷、合紙を挿入して印刷するなどの指定ができます。

カラー設定の紹介

必要に応じて入力プロファイルや出力プロファイルを設定できます。

印刷データに入力プロファイルが埋め込まれているときは、〔埋め込みプロファイルを優先する〕にチェックを付けると埋め込まれたプロファイルが適用されます。プロファイルが設定されていないときは、ここで設定した入力プロファイルが適用されます。

また、出力色の濃度や色合いをトーンカーブで微調整できます。

カラー設定の詳細は、以下をご覧ください。

➔ [「カラー設定」48ページ](#)

色置換の紹介

印刷データファイル制作時に、アプリケーションソフトで同じ特色名やプロセスカラーの色値を設定していても、印刷された色（出力色）は使用するメディアタイプや環境等によって違って見えることがあります。こんなときは、出力色を置換して色味が合うように調整できます。

色置換での設定は、現在ジョブリストで選択しているジョブに対してのみ有効です。

色置換の詳細は、以下をご覧ください。

➔ [「ジョブの出力色を置換する」33ページ](#)

クリップの紹介

クリップするサイズと位置を指定して、その部分だけを印刷できます。

プレビューエリアで画像のクリップする部分を範囲設定してからサイズや座標値で詳細に指定することもできます。

クリップの詳細は、以下をご覧ください。



➔ [「画像の必要な部分だけを印刷する（クリップ）」31ページ](#)

印刷/RIPの順番を決めてジョブリストを並び替える

ジョブリストに複数のジョブがあるときは、一括して印刷を指示したり、順番を決めて印刷を指示したりできます。RIP処理だけ行うときも同様に一括または順番を決めて行えます。



順番を決めて印刷、またはRIP処理を指示したときは、指定した順番通りにジョブリストのジョブを並び替えることができます。

一括して印刷/RIP処理を指示する

1. ジョブリストで印刷、またはRIP処理するジョブを選択します。
【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックします。
2. ジョブツールバーの (印刷)、または (RIP) をクリックします。

順番を決めて印刷/RIP処理を行う

順番を決めて印刷/RIP処理するには、ジョブリストのジョブを順番通りに並び替えてから印刷/RIP処理をします。

1. ジョブリストの順番を移動したいジョブ名上で右クリックメニューを表示して【リストの上へ移動】など順番移動の項目を選択します。
順番を変更するジョブを全て並び替えます。
2. ジョブツールバーの (印刷)、または (RIP) をクリックします。

参考 ジョブリストのタイトル行の項目名上をクリックするたびに、その項目に対して昇順/降順に並び替えることができます。例えば、【ジョブ名】をクリックしてジョブ名順に並び替えたり、【追加日時】をクリックして追加日時順に並び替えたりできます。

決められた設定で印刷する（ホットフォルダー印刷）

ホットフォルダーとは

よく使うジョブ設定と出力するプリンターをホットフォルダーとして登録すると、印刷データをホットフォルダーにドラッグ&ドロップするだけで印刷設定が自動的に行われます。

ホットフォルダーの特徴は、以下の通りです。

- 印刷を指示するコンピュータでは、本ソフトウェアを起動する必要がない。
- 都度、個別にジョブ設定する必要がなく、日常の定型業務に適している。



このため、日常よく使うジョブ設定ごとにホットフォルダーをいくつか作っておけば、ネットワーク上のコンピュータから印刷したい設定のホットフォルダーに印刷データをドラッグ&ドロップするだけで目的の印刷ができます。




以降で、ホットフォルダーの作り方を説明します。

ホットフォルダー作成手順

ホットフォルダーの作成は、以下の2段階で行います。

1. ホットフォルダーに設定するジョブ設定一式を作成しクイックセットとして保存します。クイックセットは、ダイアログボックスで必要な設定を一括して作成できます。
2. ホットフォルダー登録ウィザードに従って、ホットフォルダーを作成します。

1. ツールメニュー - [プリセット管理] -  (クイックセット) -  (追加) の順でクリックしてホットフォルダーに設定するクイックセットを作成します。

ジョブ設定メニューの  (基本設定) と  (レイアウト設定)、 (カラー設定) での設定をクイックセットとして作成できます。

➔ [「よく使うジョブ設定の作成 \(クイックセット\)」 54ページ](#)

2. ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) -  (登録) の順でクリックします。

ホットフォルダー登録ウィザードが始まりますので、画面の指示に従って追加します。

ホットフォルダー登録ウィザードで [フォルダーを共有する(Everyone)] にチェックを付けると、作成されたホットフォルダーは共有フォルダーになります。RIPサーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピュータ）とネットワーク接続している全てのコンピュータからアクセスできます。ホットフォルダーを使用するコンピュータのデスクトップに必要なホットフォルダーのショートカットを作っておくと便利です。

！重要

ホットフォルダー登録ウィザードで [フォルダーを共有する(Everyone)] にチェックを付けると、RIPサーバーとネットワーク接続している全てのコンピュータからアクセスできます。
セキュリティ上、アクセスできるユーザーを限定するときは、共有フォルダーのアクセス権を設定してください。

参考 RIPサーバーに作成した共有フォルダーは、以下のように検索できます。


- Windows
エクスプローラーのネットワークでRIPサーバーのコンピューターを選択すると、ホットフォルダーが表示されます。
- Mac
[サーバーへ接続]を開き、リストでRIPサーバーをクリックするとホットフォルダーが表示されます。



印刷の手順

1. 本ソフトウェアとプリンターで印刷の準備をします。

➔ [「印刷の準備」 10ページ](#)

2. 目的のホットフォルダーに印刷データをドラッグ&ドロップします。

[自動印刷] を  ON に設定していれば、追加された順で順次印刷が開始されます。


 OFF のときは、ジョブリストで選択して  (印刷) をクリックして印刷を行います。


ホットフォルダーの登録解除

不要になったホットフォルダーは、以下の手順で登録解除できます。

以下の場合には、登録解除が必要です。


- ホットフォルダーを50個まで登録したとき。
50個以上は登録できませんので、新たにホットフォルダーを作成するときは、不要なホットフォルダーを登録解除してください。
- ホットフォルダーの出力プリンターに設定しているプリンターの登録解除をするとき。
ホットフォルダーが登録されたままでは、プリンターを登録解除できません。ホットフォルダーを登録解除してからプリンターの登録解除をしてください。

1. ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) の順でクリックします。

2. リストで登録解除するホットフォルダーを選択して  (登録解除) をクリックします。

3. 確認のメッセージが表示されますので [はい] をクリックします。


ホットフォルダーを登録解除しても、フォルダー自体は削除されずに残ります。

登録解除後のフォルダーをホットフォルダーに再登録するには、ホットフォルダー管理画面で  (登録) をクリックして、[フォルダーパスの選択] でこのフォルダーを指定します。



フォルダーが不要な場合は、エクスプローラーで削除してください。

ホットフォルダーを無効にするとき

ホットフォルダーを一時的に使用しないときは、ホットフォルダーを無効にします。無効にしたホットフォルダーは、通常通り印刷データをドラッグ&ドロップして入れられますが、ホットフォルダー内に蓄積されるだけで、ジョブリストには送られません。有効に設定変更すると蓄積されていた印刷データが順次ジョブリストに追加されます。

1. ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) の順でクリックします。
2. リストで無効にするホットフォルダーの [有効] のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
有効に戻すときは、[有効] のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

ホットフォルダーに設定したクイックセットを変更するとき

1. ツールメニュー - [環境設定] -  (ホットフォルダー管理) の順でクリックします。
2. リストでクイックセットを変更にするホットフォルダーを選択して  (変更) をクリックします。
3. 変更ダイアログボックスが表示されますので、変更後のクイックセットを選択します。

一度印刷したジョブを再印刷する

印刷が完了したジョブは、自動的にジョブリストから印刷済みジョブリストに移動します。一度印刷したジョブの再印刷は、印刷済みジョブリストから目的のジョブを選択して行います。印刷済みジョブリストからの印刷は、以下のどちらかを選択できます。

- 再印刷
前回印刷したときのジョブ設定のまま印刷します。
- 設定を変更してから印刷
選択したジョブがジョブリストに追加されますので、新たにジョブ設定をして印刷します。

印刷が完了したジョブはファイルとして保存できます。ファイルに保存すると、印刷済みジョブリストからジョブを削除でき、RIPサーバーの空き容量を確保できます。

保存したジョブデータは、本ソフトウェアで読み込んで再印刷できます。

各種設定をした印刷前のジョブも、ファイルに保存できます。

ジョブの保存（エクスポート）と保存したジョブの読み込み（インポート）の手順は以下をご覧ください。

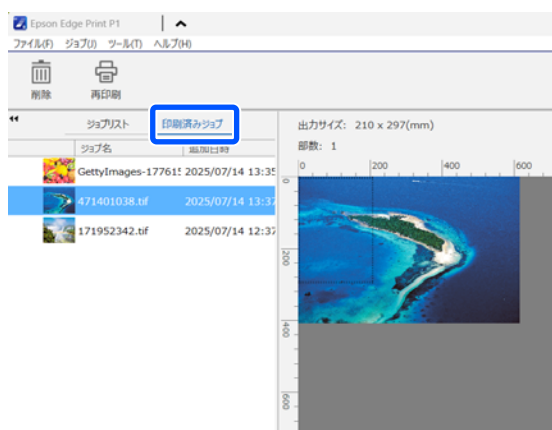
➡ [「ジョブデータをファイルに保存する」 22ページ](#)

再印刷の手順

1. 本ソフトウェアとプリンターで印刷の準備をします。

➡ [「印刷の準備」 10ページ](#)


2. メイン画面で印刷するプリンタータブ - 「印刷済みジョブ」 ボタンの順にクリックします。



印刷済みジョブリストに切り替わります。

3. 印刷済みジョブリストで再印刷をするジョブを選択して以下のどちらかを行います。

• 再印刷するとき

ジョブツールバーの (再印刷) をクリックします。

または、再印刷するジョブ名上で右クリックメニューを表示して [再印刷] を選択します。

再印刷が開始されます。

印刷待ち等のステータスを確認したいときは、 [ジョブリスト] ボタンをクリックして、ジョブリストに切り替えてください。

参考

ジョブの再印刷を実行すると、RIP 処理から行うためジョブによっては再印刷に時間がかかることがあります。

ジョブの再印刷を頻繁に行うときは、印刷後にRIP 済みデータが自動で保存される設定にしておくことで、再印刷の時間を短縮できます。

➔ [「印刷後にRIP済みデータを保存する」 20ページ](#)

• 設定を変更してから印刷するとき

再印刷するジョブ名上で右クリックメニューを表示して [設定を変更してから印刷] を選択します。

ジョブがジョブリストに追加されます。

[ジョブリスト] をクリックして、ジョブリストに切り替えて追加されたジョブを選択してジョブ設定を行います。

ジョブ設定の詳細は、以下をご覧ください。

➔ [「ジョブの基本設定」 24ページ](#)


➔ [「レイアウトの設定」 27ページ](#)

印刷後にRIP済みデータを保存する

通常は、ジョブの印刷が完了するとRIP済みデータが自動で削除されます。

以下の手順で印刷後にRIP済みデータが自動で保存されるように設定すると、ジョブの再印刷時にRIP済みデータを印刷するため、再印刷の時間を短縮できます。ただし、RIPサーバーの容量不足の原因となるので、不要なジョブは定期的に削除してください。

➔ [「印刷済みジョブリストの整理」 20ページ](#)



1. ツールメニュー - [環境設定] -  (RIPサーバー設定) の順でクリックします。
2. [データ保存] の [印刷完了後にRIP済みデータを保存する] にチェックを付けます。
3. 設定が完了したら [適用] をクリックします。

印刷済みジョブリストの整理

印刷済みジョブリストに多数のジョブが蓄積されていると、RIP済みデータが保持されたままになるため、RIPサーバーの容量不足の原因となります。

不要なジョブは、以下の手順で定期的に削除することをお勧めします。

ジョブを個別に削除する

1. メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。
印刷済みジョブリストに切り替わります。
2. 印刷済みジョブリストで削除するジョブを選択して ジョブツールバーの  (削除) をクリックします。または、削除するジョブ名上で右クリックメニューを表示して [削除] を選択します。
 が表示されているジョブは、保護されているため削除できません。
保護されているジョブを削除するときは、ジョブ名上で右クリックメニューを表示して [保護解除] を選択します。
3. 確認のメッセージで [はい] をクリックします。

ジョブを一括して削除する

印刷日を条件に抽出した印刷済みジョブを一括して削除できます。
削除したくないジョブは、事前にジョブを保護することをお勧めします。

➔ [「印刷済みジョブを保護する」21ページ](#)

1. メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。
印刷済みジョブリストに切り替わります。
2. ジョブのサムネイルや [ジョブ名]、[印刷終了日時] などを確認します。
印刷日を条件に削除するジョブを抽出するため、抽出条件を確認します。
3. ツールメニュー - [印刷済みジョブの一括削除] の順でクリックします。
4. [削除対象ジョブの抽出条件] で削除するジョブの抽出条件を選択し、選択した条件に応じた印刷日を指定します。
[指定日以前に印刷したジョブ] を選択したときは、[指定日] を設定します。
[指定した期間に印刷したジョブ] を選択したときは、期間の [開始日] と [終了日] を設定します。
設定した抽出条件に該当する印刷済みジョブがリストに表示されます。保護されているジョブは表示されません。
5. [削除] をクリックします。
抽出した印刷済みジョブが削除されます。

印刷済みジョブを保護する


印刷済みジョブリストのジョブを誤って削除しないように保護できます。

1. メイン画面で印刷するプリンタータブ - [印刷済みジョブ] ボタンの順にクリックします。
印刷済みジョブリストに切り替わります。

2. 印刷済みジョブリストで保護するジョブ名上で右クリックメニューを表示して【保護】を選択します。

複数のジョブを選択するときは、以下のいずれかの方法で選択できます。

- **連続した複数ジョブを選択**
【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックする。
- **飛び飛びに複数ジョブを選択**
【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをそれぞれクリックする。

ジョブに  が表示され、ジョブが保護されます。

参考 保護されたジョブのジョブ名上で右クリックメニューを表示して【保護解除】を選択すると、ジョブの保護を解除できます。

ジョブデータをファイルに保存する

印刷が完了したジョブやジョブ設定メニューから各種設定をした印刷前のジョブをファイルに保存し（エクスポート）、再印刷時に本ソフトウェアで読み込んで（インポート）、ジョブリストに追加できます。

ジョブデータ保存時は、以下の点にご留意ください。

本ソフトウェアの各種設定がエクスポート側とインポート側で異なるときは、エクスポートしたジョブの設定がインポート時に再現できないことがあります。

ジョブのエクスポート

1. ジョブリスト、または印刷済みジョブリストでエクスポートするジョブを選択して右クリックし、表示されたメニューで【エクスポート】を選択します。

複数のジョブを選択するときは、以下のいずれかの方法で選択できます。

- **連続した複数ジョブを選択**
【Shift】キーを押したまま先頭のジョブと最後のジョブをクリックする。
- **飛び飛びに複数ジョブを選択**
【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをそれぞれクリックする。

選択したジョブに印刷中やRIP中のジョブが含まれるときはエクスポートできません。印刷やRIP処理が完了してからエクスポートしてください。

参考 ジョブメニュー - 【ジョブをエクスポート】の順でクリックしてもエクスポートできます。

2. ファイルの保存先を選択して保存します。【エクスポート後にジョブを削除する】にチェックを付けると、保存後にリストからジョブが削除されます。

保存したファイルは拡張子が (.epjf) となります。

ジョブをインポートして追加する

以下の手順でジョブファイル (.epjf) をインポートしてジョブリストに追加できます。

1. ジョブリストを表示して、ジョブメニュー - [インポート] の順でクリックします。

ジョブ インポートウィザードが始まります。


2. [参照] をクリックしてファイルが保存されている先を指定し、インポートするファイルを選択します。


ファイルは100個まで選択できます。


3. [次へ] をクリックします。

4. [インポートファイルの確認結果] に、手順2で選択したファイルがインポートできるかどうかが表示されます。メッセージを確認し、必要に応じてインポートしないファイルのチェックを外します。


ファイル名左のチェックボックスにチェックが付いているファイルをインポートします。

 アイコンが表示されたファイルは、エクスポートしたジョブの一部の設定がインポート時に再現できず初期設定値に戻ります。再現できない設定は、インポート後に設定を変更する必要があります。

[一部の設定が再現できないファイルをインポートする] のチェックを外すと、 アイコンが表示された全てのファイルのチェックが外れます。

 アイコンが表示されたファイルはインポートできません。



 アイコンが表示されたファイルをインポートするときは、[確認結果出力] をクリックして、[インポートファイルの確認結果] の表示内容をCSV 形式のファイルに保存することをお勧めします。インポート後にジョブの設定を変更するときに、インポート時に初期設定値に戻った項目をこのファイルで確認できます。

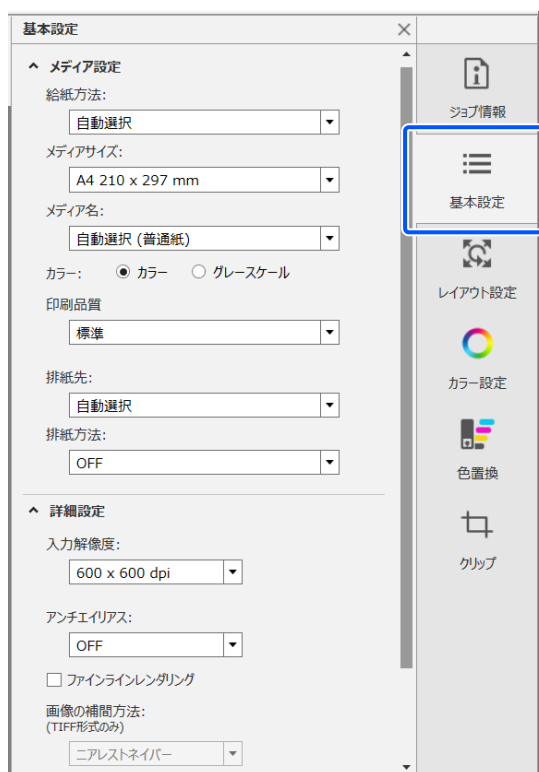
5. [完了] をクリックします。

ジョブリストにインポートしたファイルのジョブ名が追加されます。

ジョブの基本設定

ジョブの基本設定を説明します。

1. ジョブリストで基本設定するジョブを選択します。
2. ジョブ設定メニューで☰（基本設定）をクリックします。
設定エリアが基本設定に変わります。
操作対象のプリンターの機種に応じて、表示される項目が異なります。



• 給紙方法

どの給紙装置から給紙するかを選択します。

「用紙ごとに給紙装置を分ける」を選択すると、表紙や合紙を入れて印刷するとき、ページごとに給紙装置の指定ができます。

オプションの給紙装置を表示させるには、オプションの登録が必要です。

オプションの登録方法 → [「管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき」63ページ](#)

• 表紙・合紙

「給紙方法」で「用紙ごとに給紙装置を分ける」を選択しているときに限り有効になります。

「詳細設定」から、おもて表紙とうら表紙に印刷するかを選択できます。ページごとに給紙装置の指定もできます。

「ページ間合紙・章紙」にチェックを入れ、「詳細設定」をクリックすると合紙や章紙を入れる設定もできます。

- **メディアサイズ**

プリンターにセットされているメディアサイズと同じサイズを選択します。



リストボックスに使いたいサイズがないときは、カスタムメディアサイズを作成するとリストボックスから選択できるようになります。

カスタムメディアサイズの作成方法 → [「メディアサイズを作成したいとき \(カスタムメディアサイズ\)」 62ページ](#)

- **メディア名**

[メディア名] のリストボックスで、セットしているメディアに該当するメディアタイプを選択します。

- **カラー**

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

- **印刷品質**

画質と印刷速度の兼ね合いでモードを選択します。

印刷品質は、モードの編集でトーンカーブや印刷濃度、入力解像度が調整できます。

印刷品質のモード編集の詳細は、以下をご覧ください。

→ [「使用するメディアに応じたプリント情報を作成する」 58ページ](#)

- **排紙先**

印刷後の用紙をどこに排紙するかを選択します。

- **排紙方法**

複数部印刷するときの排紙方法を選択します。

[90度回転] は、印刷した用紙を1部ずつ縦横交互に排紙します。この機能を使うには、[給紙方法] で [自動選択] を選択し、[排紙先] で [自動選択] または [フェイスダウン排紙トレイ] を選択します。

その他の設定によっては、選択できないことがあります。

[シフト印刷] は、印刷した用紙を1部ずつ交互にすらして排紙します。この機能を使うには、[排紙先] で [自動選択] または [フィニッシャー下トレイ] を選択します。オプションのフィニッシャー装着時のみ有効です。

- **入力解像度**

印刷の解像度を選択します。細かい文字などを高精細に印刷したいときは、数字が大きい方を選択します。

- **アンチエイリアス**

印刷データのデータ形式がPDF、または線画を含むEPS/PSのときに設定します。

[ON] に設定すると、印刷データにアンチエイリアス処理が行われて文字や線などの境界部分が滑らかになります。



以下の場合も本項目は設定できませんが、印刷データにアンチエイリアス処理は行われません。

印刷データのデータ形式が、PDF または線画を含むEPS/PS以外のとき。

- **ファインラインレンダリング**

Adobe PDF Print EngineのFine Line Rendering機能を適用します。細い線や小さな文字がくっきりします。

本機能を有効にすると、アンチエイリアス機能は使えません。

- **画像の補間方法**

印刷データのデータ形式がTIFFのときに限り有効になります。

細い線を含む幾何学模様のような画像の印刷結果で線が印刷されないときに、[バイキュービック] に設定します。

- **輪郭のにじみを抑える**


文字や画像の輪郭を鮮明にして印刷します。鮮明にする輪郭の対象を黒のみかカラーを含むかを選択できます。レベルの数字が大きいほど、より鮮明になります。

- **バーコードモード**

チェックを入れると、インクのにじみを抑えて鮮明に印刷します。印刷したバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。

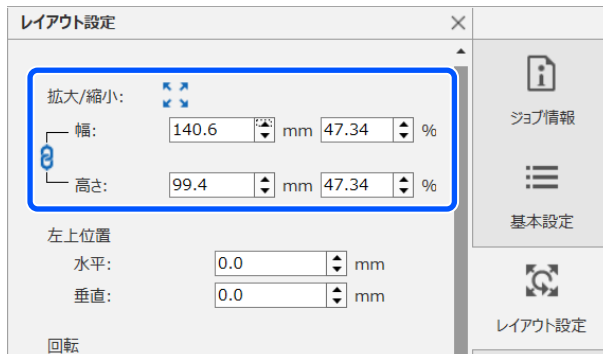
レイアウトの設定

メディア上にどのように印刷するかの設定や出力設定を説明します。

1. ジョブリストでレイアウト設定するジョブを選択します。
2. ジョブ設定メニューで  (レイアウト設定) をクリックします。
設定エリアがレイアウト設定に変わります。

レイアウトの設定

- 拡大/縮小したいとき



以下の3通りの拡大/縮小方法があります。

- サイズを指定して拡大/縮小
[拡大/縮小] の [mm] または [インチ] の [幅] と [高さ] に拡大/縮小時のサイズを入力します。
🔗 をクリックするたびに 🔗 と 🔗 が切り替わります。
🔗 は、拡大/縮小時に縦横比が固定されます。
🔗 は、縦横比は固定されません。
- 倍率を指定して拡大/縮小
[拡大/縮小] の [%] の [幅] と [高さ] に拡大/縮小時の倍率を入力します。
🔗 をクリックするたびに 🔗 と 🔗 が切り替わります。
🔗 は、拡大/縮小時に縦横比が固定されます。
🔗 は、縦横比は固定されません。
- メディア幅いっぱいになるように拡大/縮小
🔗 をクリックすると、現在設定されているメディア幅いっぱいになるように自動で拡大/縮小されます。
元のサイズに戻すときは、[幅] ・ [高さ] 共に100%に設定します。
メディア幅いっぱい拡大の例

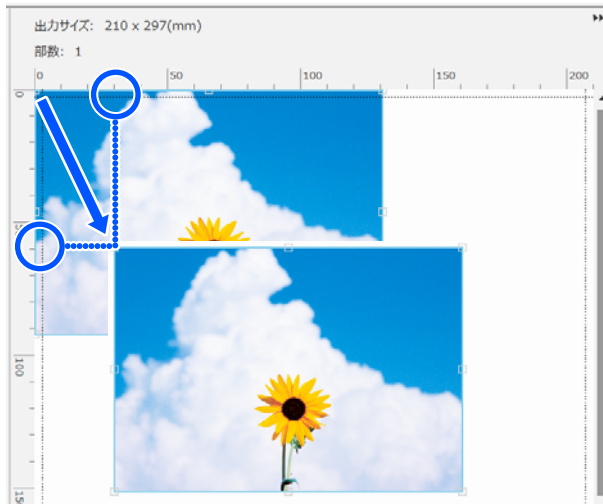


プレビューエリアで画像の外周枠線をドラッグして拡大/縮小することもできます。

レイアウトの設定

- **位置を変更したいとき**

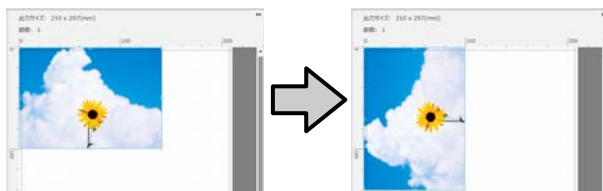
画像の左上角の座標で指定します。[左上位置] で [水平] と [垂直] に下図のスケールの値を入力して指定します。



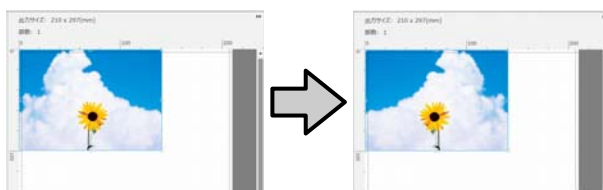
プレビューエリアで画像をドラッグして位置を指定することもできます。

- **回転・反転したいとき**

[左90度回転] を行った例





また、ウィンドウ用ディスプレイなどで画像を鏡像印刷したいときは、[左右反転] にチェックを付けます。

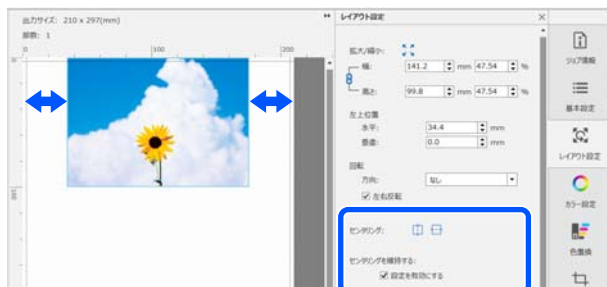


レイアウトの設定

- 画像を中央に配置したいとき

[センタリング] から、 (水平方向にセンタリング) または  (垂直方向にセンタリング) をクリックすると、自動的にメディア幅や長さに対してセンタリングします。

水平方向にセンタリングの例



センタリング方法を選択して [センタリングを維持する] にチェックを付けると、水平方向に常にセンタリングされます。部数変更や拡大/縮小、回転などのレイアウトを設定したときもセンタリングを維持します。ただし、拡大/縮小や位置変更はプレビューエリアでは設定できないため、設定エリアで設定してください。

- 複数部数印刷したいとき

[部数] に印刷する部数を入力します。

- 両面印刷したいとき

[両面印刷] からとじ方を選択します。用紙の向きとめくり方に応じて、用紙の長い辺をとじるか短い辺をとじるかを選択します。

- 複数ページのデータをページ順に印刷したいとき

[逆順印刷] にチェックを付けると、データの最終ページから先頭ページに向かって印刷するため、印刷後にページを並べ替える手間が省けます。

- 複数ページのデータを部単位で複数部印刷したいとき

[部単位で印刷] を選択すると、「1、2、3、1、2、3」のように1～最終ページまでをまとめて1セットずつ印刷します。

[ページ単位で印刷] は、「1、1、2、2、3、3」のようにページごとにまとめて印刷されます。

- 合紙（仕切り紙）を入れて印刷したいとき

印刷物の間に紙を挟んで印刷できます。

[部数間合紙] にチェックを入れると、部数間に合紙を入れます。[合紙挿入の部数] で合紙を挿入する部数の間隔を指定できます。


[ジョブ間合紙] は、ジョブの先頭に合紙を入れます。複数ジョブを連続して印刷するときに便利です。

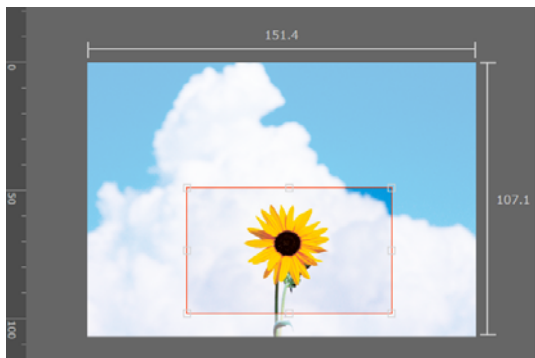
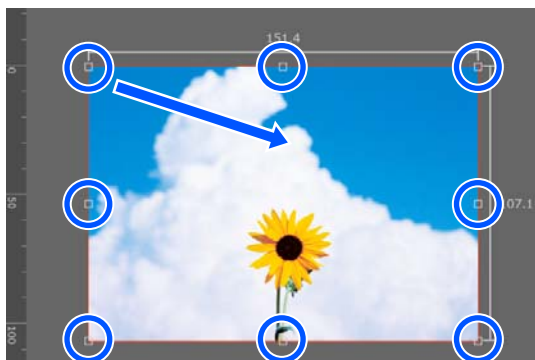
また、[給紙方法] から合紙に使用する給紙装置の指定ができるため、印刷ジョブと合紙の用紙を分けることもできます。

画像の必要な部分だけを印刷する（クリップ）

画像を部分的に指定して印刷できます。大きなサイズの画像のポイントとなる箇所だけ印刷して画質や色合いを確認するときに適した機能です。

以降に必要な部分をクリップする手順を説明します。


1. ジョブリストでクリップするジョブを選択します。
2. ジョブ設定メニューで （クリップ）をクリックします。
設定エリアがクリップの設定に変わります。
3. [設定を有効にする] にチェックを付けます。
設定項目が有効になり、プレビューエリアの画像にクリップ枠が表示されます。
4. 印刷範囲を設定します。
プレビューエリアでクリッピングポイントをドラッグして範囲指定します。
クリップ枠の線をドラッグするとクリップ枠を移動できます。クリップ枠が画像と同じサイズになっているときは、移動できません。



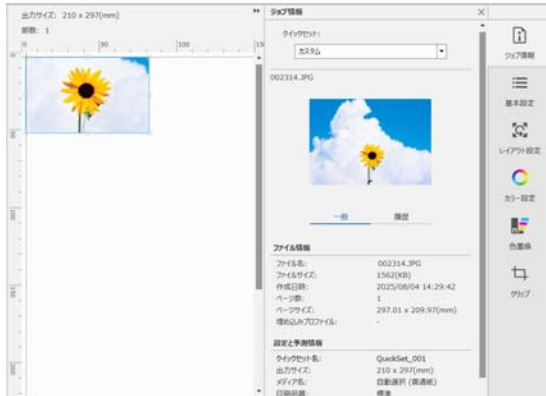
画像の必要な部分だけを印刷する（クリップ）

5. クリップ範囲のサイズや位置を微調整できます。

設定エリアで [サイズ] と [左上位置] で数値を入力してサイズや位置を詳細に設定できます。

6. クリップ範囲の設定が完了したらジョブ設定メニューで （クリップ）以外を選択するとプレビューエリアが印刷プレビューに切り替わります。

例： （ジョブ情報）選択時



ジョブの出力色を置換する

色置換では、ジョブリストで選択しているジョブで使用している以下の色に対して、出力色を置換できます。

- ジョブで使用している全ての特色
ジョブのデータ形式が、PDF/EPS/PSの場合に限ります。
- プレビュー上で、スポイトツールで抽出した色
本ソフトウェアの対応データ全てで機能が有効です。

参考 特色（スポットカラー）：商用印刷で使われる、あらかじめ混合済みの特殊なインクを指します。
プロセスカラー：基本のCMYKインクを組み合わせることで色を指定する方式です。

以下のような場合に色置換を行うと、出力色を適切な色に調整したり色の変更をしたりできます。

出力色を適切な色に調整/置換する

印刷データで同じ特色（スポットカラー）や色値を設定していても、印刷に使用するメディアや環境等で印刷結果の色（出力色）が異なって見えることがあります。


色置換で出力色を調整/置換するには、大きく以下の4通りがあります。

- 印刷物を確認して色値を設定する
➔ [「色置換の手順」 33ページ](#)
- 出力色調整チャートから目的の出力色を選択する
➔ [「出力色調整チャートから出力色を設定する」 34ページ](#)
- 対応する測色器を接続しているとき
色見本を測色した結果を出力色として設定できます。
➔ [「対応測色器」 75ページ](#)
➔ [「色見本を測色して出力色を設定する」 37ページ](#)
- 別のジョブで設定した色置換情報を保存しているとき
別のジョブで設定した色置換情報を保存しているときに、その情報を出力色として設定できます。
➔ [「設定した色置換情報を流用する」 37ページ](#)


ジョブ全般に対する出力色の設定は、カラーコレクションで行います。

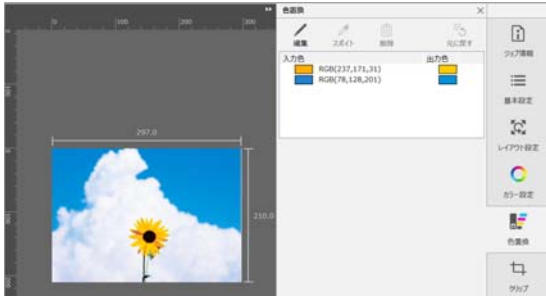
➔ [「カラーコレクションの使い方」 39ページ](#)


色置換の手順

1. ジョブリストで色置換するジョブを選択します。
プレビューエリアに印刷画像が表示されます。
2. ジョブ設定メニューの（色置換）をクリックします。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。
ジョブ内にカラーコレクションに登録している色が使われていれば、その色に設定されている出力色が表示され
ます。

参考

リストの [入力色] や [出力色] に  が表示された特色は色域外です。インク濃度を調整することで、再現したい色に近づけられる場合があります。



3.  (編集) をクリックします。

4. 出力色を変更します。


色置換では、出力色は必ずC,M,Y,Kの色値で設定します。

- カラーコレクションに登録されている色の出力色を変更するとき

① 変更する色を選択します。


② [設定内容] に、選択した色の情報が表示されるので [C]、[M]、[Y]、[BK] に色値または濃度を設定して出力色を設定します。

- 画像の任意の色を置換したいとき

①  (スポイト) をクリックします。プレビューエリアの印刷画像にマウスカーソルを移動すると、カーソルがスポイトに変わります。

② プレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。色置換設定に抽出した色が追加されます。

③ 追加された色を選択します。[設定内容] に、選択した色の情報が表示されるので [C]、[M]、[Y]、[BK] に色値を設定して出力色を設定します。

5.  (編集) をクリックします。

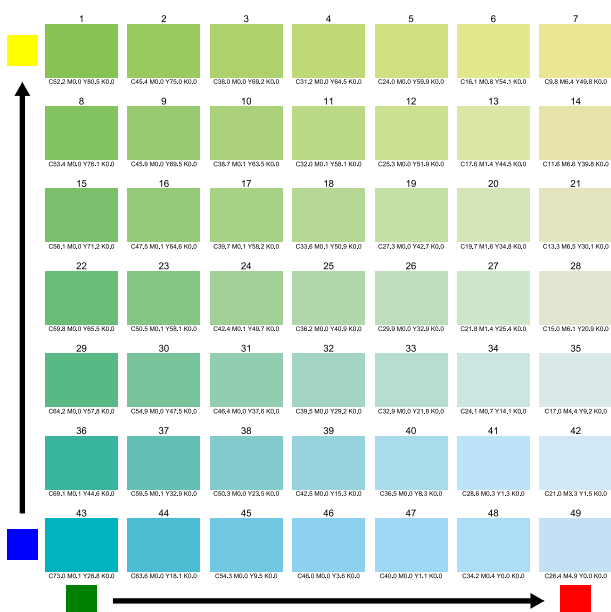
プレビューエリアの画像に、手順4で変更した出力色が反映されます。

出力色を変更後は実際に印刷して色合いを確認してください。




出力色調整チャートから出力色を設定する

出力色調整チャートは、目的の出力色と似た色合いのカラーパッチを一覧で印刷するためのジョブです。出力色調整チャートジョブを印刷してその中から目的の出力色を選びます。各カラーパッチには色値が明記されており、選択した色の色値を出力色に設定します。

カラーパッチの並びは、右方向のカラーパッチほど赤が強くなり上に行くほど黄が強くなるため、右上のカラーパッチほど濃い赤に近づきます。



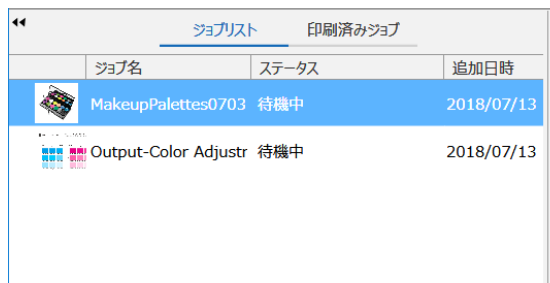
以下で、ジョブ上の色をスポイトで抽出して出力色調整チャートジョブを作る方法を例に説明します。

1. ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの（色置換）をクリックします。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。
2. （編集）をクリックします。
3. リストから置換対象の特色を選択します。
スポイトで対象の色を抽出して選択することもできます。
色の抽出は、（スポイト）をクリックしてプレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。
[設定内容] に抽出した色の情報が表示されます。

4. [出力色調整チャートジョブ作成] をクリックします。
出力色調整チャートジョブ作成ダイアログが表示されます。





5. [総パッチ数] と [パッチ間の色差] を設定して [ジョブ追加] をクリックします。
ジョブリストに出力色調整チャートジョブが追加されます。





参考 [総パッチ数] を125以上に設定すると、出力色調整チャートが印刷用紙からはみ出します。その場合は、クリップ機能を使用して必要なチャート部分のみを残し、印刷してください。

6. ジョブリストで出力色調整チャートジョブを選択して印刷します。
印刷の方法は一般のジョブと同様です。
実際に印刷するときと同じ印刷設定とメディアで印刷してください。ただし、☰ (基本設定) と 🌈 (カラー設定) は、変更しないでください。変更すると出力色調整チャートが正しい色合いで印刷されず、結果正しい色置換が行われません。
7. 印刷した出力色調整チャートから出力色を選びます。
選択した色の色値を確認します。
8. ジョブリストで手順1と同じジョブを選択してジョブ設定メニューの 🌈 (色置換) をクリックします。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。

9. [入力色] で手順3で抽出した色を選択して、 (編集) をクリックします。
10. 出力色調整チャートで選択した色を出力色に設定します。
[設定内容] の [C]、[M]、[Y]、[BK] に、手順7で選択した色の色値を設定します。
11.  (編集) をクリックします。
プレビューエリアの画像に、設定した出力色が反映されます。
出力色を変更後は、実際に印刷して色合いを確認してください。


色見本を測色して出力色を設定する

以下の操作の前に、測色器をRIP サーバーに接続して使用できる状態にしてください。測色器の接続や使い方は、測色器に付属のマニュアルをご覧ください。

1. ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの (色置換) をクリックします。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。
2. 変更する色を選択して  (編集) をクリックします。
3. [設定内容] の [測色] をクリックします。



画面の指示に従って、カラーキャリブレーションを行ってから色見本を測色します。
測色が完了すると出力色の色値が測色結果に応じて変更されます。

4.  (編集) をクリックします。
プレビューエリアの画像に、手順3で変更した出力色が反映されます。
出力色を変更後は実際に印刷して色合いを確認してください。


設定した色置換情報を流用する

ジョブリストで選択しているジョブで調整/置換した出力色を保存して、別のジョブに流用できます。
出力色を保存するジョブのメディア設定と、保存した出力色を使用するジョブのメディア設定は同じ設定にしてください。2つのジョブのメディア設定が異なると、印刷結果の色(出力色)が異なって見えることがあります。





➔ [「ジョブの基本設定」24ページ](#)

ここでは、調整/置換した出力色の保存と、保存した出力色を別のジョブに使用する手順を説明します。

出力色の保存

1. ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの（色置換）をクリックします。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。
2. 出力色を適切な色に調整/置換します。
出力色の調整/置換方法の詳細は、以下をご覧ください。
➡ [「色置換の手順」33ページ](#)
色置換設定のリストに調整/置換した結果が表示されます。
3. 色置換設定のリストで保存する色置換情報を選択して、**〔設定内容の保存〕** をクリックします。
色置換情報の選択ダイアログが表示されます。
4. 出力色の色値などを確認します。
〔メモ〕に保存する出力色の覚え書きを入力できます。
5. **〔OK〕** をクリックして保存します。

保存した出力色を使用する

1. ジョブリストで色置換するジョブを選択してジョブ設定メニューの（色置換）をクリックします。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。
2. （編集）をクリックします。
3. リストから置換対象の特色を選択します。
スポイトで対象の色を抽出して選択することもできます。
色の抽出は、（スポイト）をクリックしてプレビュー上の画像の、置換したい色上にスポイトを合わせてクリックします。
〔設定内容〕に抽出した色の情報が表示されます。
4. **〔保存した色置換情報から選択〕** をクリックします。
色置換情報の選択ダイアログが表示されます。
5. リストから使用する出力色を選択して **〔適用〕** をクリックします。
〔設定内容〕に選択した色の情報が表示されます。
6. （編集）をクリックします。
プレビューエリアの画像に、選択した出力色が反映されます。

カラーコレクションの使い方

同じ特色を頻繁に複数のジョブで印刷するときは、カラーコレクションにその特色名と出力色の情報を登録しておきます。印刷データで同じ特色を設定していれば、印刷するジョブ全般にカラーコレクションに登録した出力色が適応されるため、一括して出力色の管理ができます。

色置換できるのは、以下のデータ形式のジョブに限られます。

- PDF
- EPS
- PS

データ中の画像にカラーコレクションに登録されていない特色が設定されているときは、IllustratorやPhotoshopで設定された色合いで印刷されます。

カラーコレクションでは、特色をグループに分けて登録できるので、同じ特色の出力色をメディアタイプごとに変えて登録することもできます。このとき必要なグループだけを有効にしたり、グループの優先順位を設定したりして印刷時に適応される特色の出力色を決められます。

➔ [「必要な特色だけを有効にするとき」41ページ](#)

➔ [「グループの優先順位付け」41ページ](#)

カラーコレクションに登録している特色はグループ単位でエクスポートできます。

カラーコレクションには、以下のファイルをインポートできます。

- エクスポートしたファイル(.epcc)
- IllustratorのAdobe Color Bookファイル(.acb)
- Photoshopのスウォッチライブラリーファイル(.aco)

➔ [「特色をエクスポートする」43ページ](#)

➔ [「特色ファイルをインポートする」42ページ](#)

カラーコレクションのグループ単位で色見本印刷ができます。

デザイナーと印刷担当者が印刷色を打ち合わせるときに便利です。

➔ [「色見本を印刷する」43ページ](#)

カラーコレクションのグループ単位で特色を一括して調整できます。

グループに登録済みの特色を別のメディアタイプや印刷設定で使用するときや、出力色を印刷サンプルなどの指定する色に合わせたいときに便利です。

なお、一括して調整できるのは、Lab値で登録されている特色のみです。

➔ [「特色を一括して調整する」44ページ](#)

カラーコレクションへの特色の登録方法は、以下をご覧ください。

特色の編集/追加




登録済み特色の出力色の変更や新たに特色名と出力色を追加するには、大きく以下の2通りの方法があります。

- 印刷物を確認して色値を設定する
 - ➔ [「編集/追加の手順」40ページ](#)
- 色見本を測色した結果を出力色として設定する
対応する測色器を接続しているときに限り実行できます。
 - ➔ [「対応測色器」75ページ](#)
 - ➔ [「色見本を測色して出力色を設定する」37ページ](#)

カラーコレクションのグループおよび特色の登録上限は以下の通りです。



- 最大グループ数：64個
- 最大特色数：4000個/グループ

編集/追加の手順

1. ツールメニュー- [プリセット管理] -  (カラーコレクション) -  (編集) の順でクリックします。追加をする場合は、 (追加) をクリックします。
追加を選択した場合は、ウィザードに従ってグループ名を指定します。
グループ名を入力すると新規にグループが作成されます。
コンボボックスで既に存在するグループ名を選択することもできます。
2. [出力色指定方法] でLab値かCMYKかを選択します。
メディアタイプを頻繁に変更して印刷するときはLab値が適しています。
印刷するメディアタイプがあまり変わらない、決まった色値で印刷したいときはCMYKが適しています。
選択した指定方法に応じて入力ボックスが変わります。
3. 出力色として使用するカラー定義値を入力します。
4. 入力が完了したら [OK] をクリックします。

色見本を測色して出力色を設定する

以下の操作の前に、測色器をRIPサーバーに接続して使用できる状態にしてください。測色器の接続や使い方は、測色器に付属のマニュアルをご覧ください。

1. 変更時は、リストで変更対象の特色名をクリックして  (編集) をクリックします。追加をする場合は、 (追加) をクリックします。
追加を選択した場合は、ウィザードに従ってグループ名を指定します。
グループ名を入力すると新規にグループが作成されます。コンボボックスで既に存在するグループ名を選択することもできます。
2. [出力色指定方法] でLab値かインク色かを選択します。
選択した指定方法に応じて入力ボックスが変わります。
3. [測色] をクリックします。




画面の指示に従って、カラーキャリブレーションを行ってから色見本を測色します。


測色が完了すると出力色の色値が測色結果に応じて変更されます。

出力色を変更後は実際に印刷して色合いを確認してください。

インポート、追加した特色を元にして異なる特色を作成するとき

リストで元にした特色を選択して  (複製) をクリックします。
複製が作成されますので、複製した特色を編集します。

不要な特色を削除するとき

リストで不要なグループ、または特色を選択して  (削除) をクリックします。

必要な特色だけを有効にするとき



メディアタイプごとにグループを作成し、メディアに応じて同じ特色名で出力色を変える場合など、同じ特色名に複数のカラー定義を登録しているときは、これから印刷するジョブに適用しないグループを、以下の手順で設定できます。

リストでジョブに対して適応しないグループを選択して (無効化) をクリックします。


グループ名左のチェックが消えて無効になります。有効にしたいときは、再びグループ名を選択して (有効化) をクリックします。

グループの優先順位付け

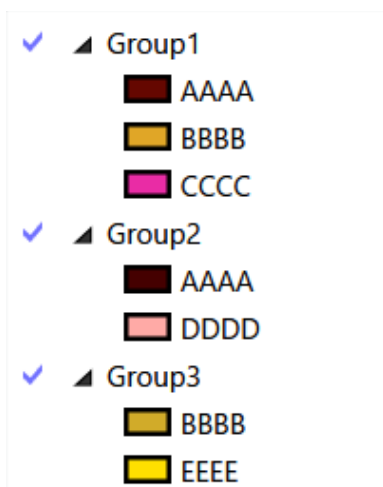
複数のグループに分けて特色を管理しているときは、グループに優先順位を付けて印刷するジョブに対して適応する特色を指定できます。


1. 優先順位を指定するグループ名を選択して  /  をクリックします。

下図の構成でグループ別に特色が登録されているときを例に説明します。

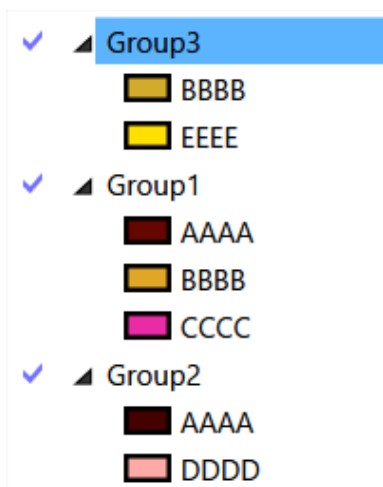
印刷するジョブにGroup3のBBBBを適応したいときは、[Group3] を選択して  をクリックします。

[Group3] の順番が一つ上がります。



2. [Group3] を選択してもう一度  をクリックします。

[Group3] がリストの一番上に移動しました。リストの先頭が一番優先順位が高く、下になるに従って優先順位が下がります。この例では、[Group1] にも特色BBBBが登録されていますがジョブに特色BBBBが設定された画像があれば [Group3] の特色BBBBの出力色設定が適応されます。





同じジョブに特色AAAAが設定された画像が含まれていれば [Group1] の特色AAAAの出力色設定が適応されます。同様に特色DDDDが設定された画像が含まれていれば [Group2] の特色DDDDの出力色設定が適応されます。このように同名の特色はリストの順番が上にあるグループから適応されます。

特色ファイルをインポートする



インポートできるファイルは以下の通りです。

- エクスポートしたファイル(.epcc)
- IllustratorのAdobe Color Bookファイル(.acb)
- Photoshopのスウォッチライブラリーファイル(.aco)

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (カラーコレクション)  (インポート) の順でクリックします。
カラーコレクション インポートウィザードが始まります。
2. インポートするファイルを選択します。
IllustratorのAdobe Color Bookファイル(.acb)やPhotoshopのスウォッチライブラリーファイル(.aco)をインポートできます。
3. 追加するグループ名を指定します。
特色はグループに分けて管理できます。グループ名を入力すると新規にグループが作成されます。
コンボボックスで既に存在するグループ名を選択することもできます。
4. [完了] をクリックします。
リストにインポートした特色が追加されます。


特色をエクスポートする

特色は、グループ単位でエクスポートして、別のコンピューターにインストールしている本ソフトウェアでインポートして流用できます。

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (カラーコレクション) の順でクリックします。
2. リストでエクスポートするグループを選択して右クリックし、表示されたメニューで  (エクスポート) を選択します。
3. ファイルの保存先を選択して保存します。
保存したファイルは拡張子が(.epcc)となります。

色見本を印刷する

選択したグループに登録されている各色を一覧にした色見本ジョブを作成できます。色見本ジョブは自動でジョブリストに追加されます。ジョブリストで選択して印刷しお使いください。無効になっているグループも選択して色見本ジョブを作成できます。

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (カラーコレクション) の順でクリックします。
2. 色見本ジョブを作成するグループを選択して右クリックし、表示されたメニューで [色見本ジョブ] を選択します。
色見本ジョブ作成ダイアログが表示されます。
3. 色見本のページサイズと使用するクイックセットを設定して [OK] をクリックします。
色見本ジョブが作成されジョブリストに追加されます。選択したグループ名がジョブ名になります。

特色を一括して調整する

特色を一括して調整するときの作業の流れは、以下の通りです。
なお、本機能で調整できるのはLab値で登録されている特色のみです。

調整したい特色がカラーコレクションの同じグループに登録されていることを確認
特色が登録されていないときはカラーコレクションに登録します。
➡ [「特色の編集/追加」 39ページ](#)



調整後の特色を使用するジョブ設定一式がクイックセットに保存されていることを確認
クイックセットが作成されていないときはジョブ設定一式をクイックセットに保存します。
➡ [「クイックセットの作成手順」 54ページ](#)



特色チャートを作成して印刷する
調整する特色や測色方法を選択し、特色チャートジョブを作成して印刷します。
➡ [「特色チャートの作成と印刷」 45ページ](#)




測色器をRIPサーバーに接続する
➡ [「対応測色器」 75ページ](#)
➡ 測色器に付属のマニュアル



印刷した特色チャートを測色する
選択した測色方法で特色チャートを測色します。
測色後に特色の調整を実行します。
➡ [「特色チャートの作成と印刷」 45ページ](#)

特色チャートの作成と印刷

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (カラーコレクション) の順でクリックします。

2. リストで調整するグループを選択して  (一括調整) をクリックします。

カラーコレクション一括調整ウィザードが始まります。


3. 調整後の特色を使用するときのクイックセットを選択して、[次へ] をクリックします。

クイックセットは事前に作成しておく必要があります。詳細は以下をご覧ください。


➔ [「クイックセットの作成手順」54ページ](#)

4. 特色チャートを作成する特色にチェックを付けて、[印刷] をクリックします。

[全て選択] をクリックすると、Lab値で登録されている特色が全て選択されます。

ただし、手順3で選択したクイックセットのジョブ設定で色域外の特色は、が表示され、選択されません。



が表示された特色を調整したいときは、[色域外の特色を調整する] にチェックを付けると選択できるようになります。

ただし、調整を実行しても、お使いのプリンターやメディアでは色を完全には再現できません。

5. 測色器と測色方法を選択して [実行] をクリックします。

測色方法は以下の2種類の方法があります。

- **スポット測色**

特色チャートの色を1つずつ測色します。

ただし、手順4で選択した特色が100個を超えるときはスポット測色ができないため、[測色方法] に表示されません。

- **スキャン測色**


横一列の特色チャートの色を使って、測色器を横にスライドして測色します。

6. [特色チャートがジョブリストに追加されました。] と表示されたら [完了] をクリックします。

特色チャートジョブが作成されジョブリストに追加されます。ジョブ名は以下になります。

<グループ名>_<クイックセット名>

_AdjustmentChart.pdf

7. ジョブリストで特色チャートジョブを選択し、ジョブツールバーの  (印刷) をクリックして印刷を開始します。




印刷した特色チャートは、十分に乾燥させてから測色してください。
お使いのインクやメディアに応じて乾燥時間は異なります。

特色チャートの測色と調整

以下の操作の前に、測色器をRIPサーバーに接続して使用できる状態にしてください。測色器の接続や使い方は、測色器に付属のマニュアルをご覧ください。

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (カラーコレクション) の順でクリックします。

- 特色チャート作成時に選択したグループと同じグループをリストで選択して、（一括調整）をクリックします。

カラーコレクション一括調整ウィザードが始まります。

- 特色チャート作成時に選択したクイックセットと同じクイックセットを選択して、[次へ] をクリックします。

- [測色] をクリックします。

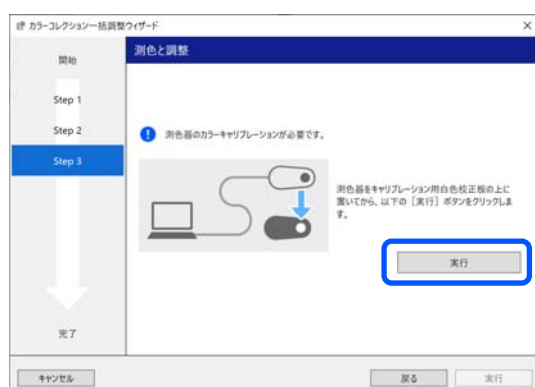
特色の選択は、特色チャート作成時から変更しないでください。

ここで特色の選択を変更すると、特色チャートの再作成が必要です。

➡ [「特色チャートの作成と印刷」 45ページ](#)

- [実行] をクリックします。

画面の指示に従って、測色器のカラーキャリブレーションを行います。



- 特色チャート作成時に選択した測色方法に従って、特色チャートを測色します。

測色方法は以下をご覧ください。

➡ [「スポット測色」 46ページ](#)

➡ [「スキャン測色」 47ページ](#)

- [実行] をクリックします。

特色の調整が開始されます。

参考 特色チャートの測色が全て完了するまでは、[実行] はグレーアウトしていてクリックできません。

- [調整後の特色グループが追加されました。] と表示されたら、調整後のグループ名を確認して [完了] をクリックします。

調整後のグループがカラーコレクションに追加されます。調整後のグループ名は以下になります。

<調整前のグループ名>_<クイックセット名>

調整チャート作成時に選択したクイックセットで印刷すると、調整後の特色の出力色設定が適応されます。

スポット測色

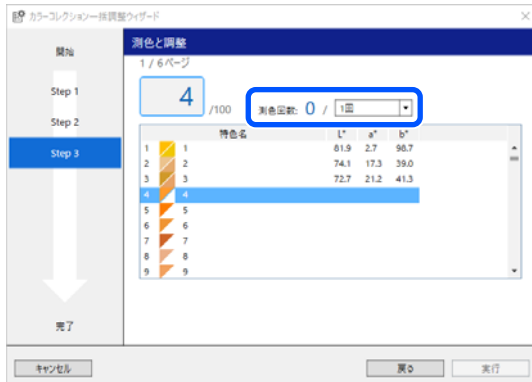
- 画面の [測色回数] で1つのカラーパッチに対する測色回数を選択します。

5回測色する場合は測色結果の中央値が使用されるため、1回測色する場合よりも精度が向上します。

2. 1つ目のカラーパッチを測色します。

測色すると、画面で選択されているカラーパッチの白い三角形に色が付きます。選択した回数の測色が終わると、次のカラーパッチが選択されます。

3. 手順2と同様に、特色チャートの全てのカラーパッチを測色します。

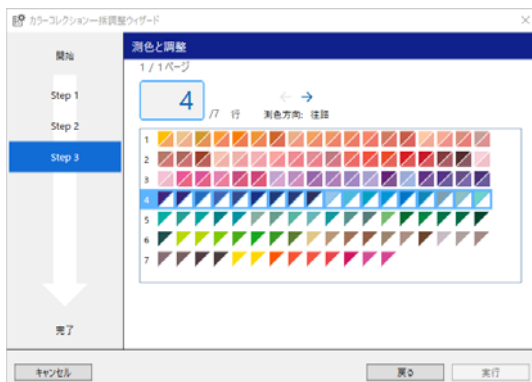


スキャン測色

1. 1行目のカラーパッチを測色します。

1行目の測色が終わると、画面で選択されているカラーパッチの白い三角形に色が付き、次の行が選択されます。

2. 手順1と同様に、特色チャートの各行のカラーパッチを測色します。




参考 以下の場合は、測色に失敗することがあります。

- 測色器の移動速度が速すぎる、または遅すぎるとき。
- 測色中に、測色器のボタンから指を離したとき。

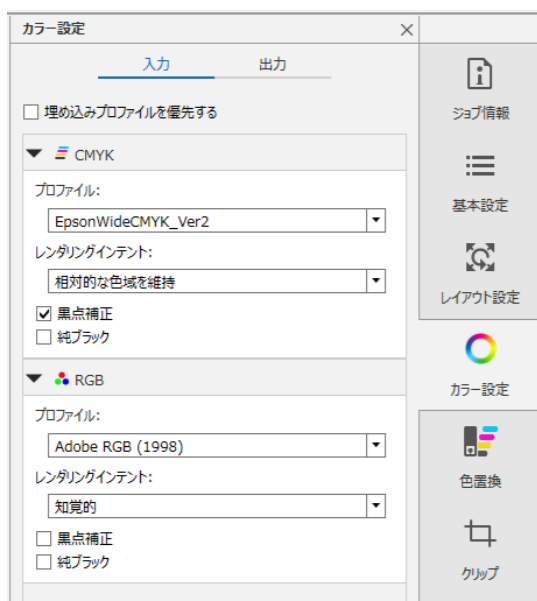
測色に失敗したときは、失敗した行を再度測色してください。

カラー設定

カラー設定では、印刷データに対する設定（入力）とジョブに対する設定（出力）ができます。

1. ジョブリストでカラー設定するジョブを選択します。
2. ジョブ設定メニューで （カラー設定）をクリックします。
設定エリアがカラー設定に変わります。


入力設定の概要



印刷データのカラースペース（CMYK/RGB）に応じて、該当のカラースペースで設定します。
カラースペースが確認できないときは、両方とも設定しておきます。

入力プロファイルの設定

印刷時に、印刷データの色をできる限り再現するには、印刷データの状態により、以下の通り設定してください。

参考 ジョブ設定メニューの （基本設定）で、デバイスリンクプロファイルを設定した印刷品質を選択していると、[CMYK] と [RGB] の表示の右に [デバイスリンクプロファイル] と表示されます。[デバイスリンクプロファイル] と表示があるときは入力設定は行えません。

- 印刷データが、入力プロファイルを埋め込んだ状態のPDFで、そのプロファイルを適用して印刷したい場合
[埋め込みプロファイルを優先する] にチェックを付けます。PDFは、データ中の画像ごとにプロファイルの埋め込み/非埋め込み設定が行えます。プロファイルが埋め込まれていない画像には、本ソフトウェアの入力プロファイル設定が適用されます。

参考 データ中に複数の入力プロファイルが埋め込まれていると、プレビューと印刷結果が異なることがあります。

- 印刷データに入力プロファイルが埋め込まれていない・どの入力プロファイルで作成されたかわからない場合
[埋め込みプロファイルを優先する] のチェックを外して、以下の入力プロファイルを選択することをお勧めします。

色鮮やかに印刷したいとき	CMYK	EpsonWideCMYK_Ver2*1
	RGB	Adobe RGB (1998)
一般的な印刷をしたいとき	CMYK	Japan Color 2001 Coatedなど
	RGB	EPSON sRGB*2など

*1: エプソンが提供する広色域入力色プロファイルです。一般的な印刷色より広い色域で印刷できます。サイン用途など色鮮やかに印刷したいときにお勧めです。印刷結果がどのようになるかをデータ作成時に確認するときは、以下の設定をしてください。

➔ [「広色域入力色プロファイルでの印刷結果をデータ作成時に画面で確認する」52ページ](#)

*2: エプソンが提供するsRGB色空間用のプロファイルです。

参考 任意に用意した入力プロファイルを使いたいときは、事前に以下のフォルダーに保存しておくことリストボックスから選択できます。

- CMYKの場合
C:\ProgramData\EPSON\Epson Edge Print P1\Color\Common\icc\cmyk
- RGBの場合
C:\ProgramData\EPSON\Epson Edge Print P1\Color\Common\icc\rgb

レンダリングインテントの設定

入力プロファイルから出力プロファイルへ色空間を変換する際の変換方式を以下から選択できます。

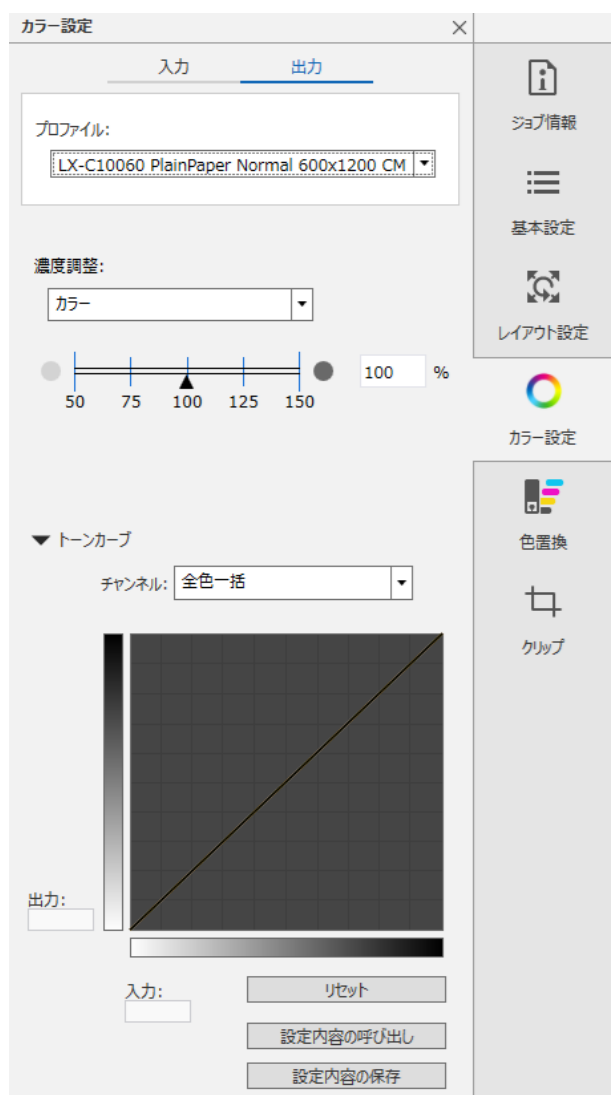
知覚的	画像全体のバランスをとって変換します。写真画像に適しています。
相対的な色域を維持	入力と出力の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度	色の正確さよりも色の鮮やかさを重視して変換します。グラフや図表など、明るい色使いが好まれるビジネスグラフィックスに適しています。
絶対的な色域を維持	色の正確さを保ちつつ変換します。色の正確さが重視されるロゴカラーの印刷などに適しています。

その他のカラー設定

黒点補正	入力プロファイルから出力プロファイルへ、色空間の変換をしたときシャドウの階調が潰れると感じるときにチェックを付けてください。
------	--

純ブラック	<p>黒ベタの文字、線画、画像をブラックのみで出力したいときにチェックを付けます。チェックを付けると印刷データ中の黒ベタの部分（CMYK：(0, 0, 0, 100%), RGB：(0, 0, 0)）をブラックのみで出力します。中間調（CMYK：(0, 0, 0, 50%), RGB：(30, 30, 30) など）に対しては効果がありません。</p>
-------	---

出力設定の概要



メディアプロファイルの変更

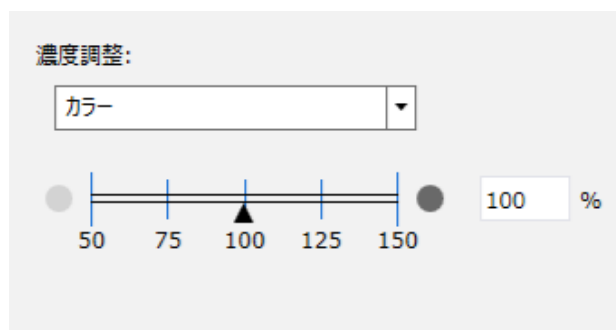
メディアプロファイルは出力プロファイルともいい、ジョブをプリンターに出力するときに使用されます。

ジョブ設定メニューの☰（基本設定）の「メディア名」で選択したメディアに対応する最適なメディアプロファイルが設定されているため、通常は変更の必要はありません。

変更する必要があるときは、リストボックスから目的のプロファイルを選択して設定します。

インク打ち込み量の調整

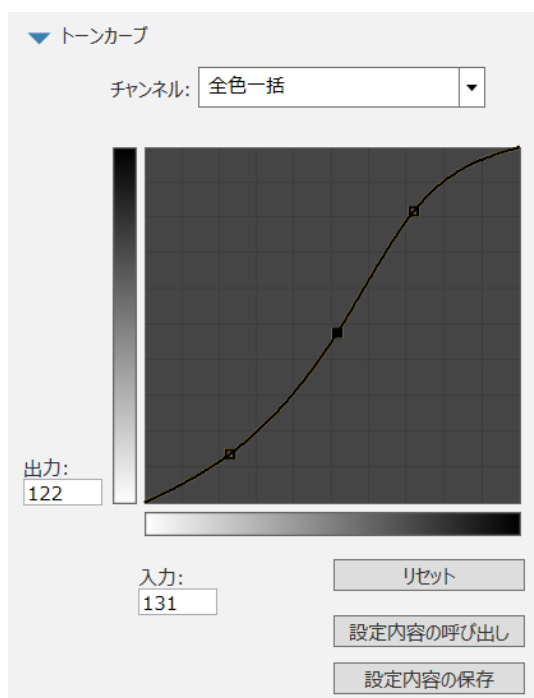
〔濃度調整〕では、インクの打ち込み量を調整できます。▲を左右にドラッグして濃度を設定します。最初に▲が位置する濃度が現在の濃度です。右に移動するほど濃度が濃くなります。ただし、あまり濃くすると印刷時ににじみや汚れの原因となります。



トーンカーブの設定

〔トーンカーブ〕では、出力色の濃度や色合いを微調整できます。〔チャンネル〕で調整する色を選択して以下の手順で調整します。

1. トーンカーブの線上をクリックして操作点を設定します。操作点は複数追加できます。不要な操作点は、選択して【Delete】キーを押すと削除できます。
2. 操作点をドラッグして調整します。〔リセット〕をクリックすると調整結果を戻せます。



調整した結果はプレビューエリアに反映されます。

調整したトーンカーブは保存できます。[設定内容の保存] をクリックして任意の名称や必要に応じて覚え書きを入力し、[OK] をクリックします。

[設定内容の呼び出し] から保存したトーンカーブの呼び出しもできます。

広色域入力色プロファイルでの印刷結果をデータ作成時に画面で確認する

ここでは、印刷データ作成時のプレビュー表示色を以下の操作で一時的に変更して印刷結果を確認する方法を紹介します。画像処理ソフトの作業用スペースの設定は変更されません。

Windows 11でAdobe Illustrator 2025使用時を例に説明します。

1. エプソン専用広色域入力プロファイルをお使いのコンピューターにインストールします。

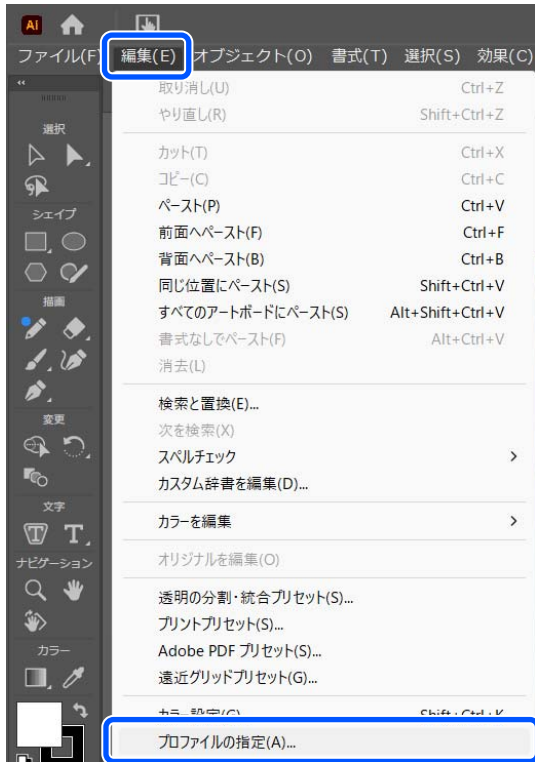
RIPサーバーの以下フォルダーにあるEpsonWideCMYK_Ver2.iccをコピーして、お使いのコンピューターに保存します。

記憶装置のドライブ ¥Program Files¥Epson Software¥Epson Edge Print P1¥Printer¥Common¥Color¥icc¥cmyk

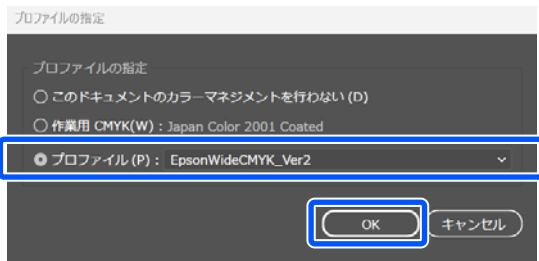
- Windows
EpsonWideCMYK_Ver2.iccを右クリックして [プロファイルのインストール] を選択します。
- Mac
以下フォルダーにEpsonWideCMYK_Ver2.iccをコピーします。
[ライブラリ] - [ColorSync] - [Profiles]

2. Adobe Illustratorを起動して印刷データを開きます。

3. [編集] - [プロファイルの指定] の順にクリックします。



4. [プロファイル] で [EpsonWideCMYK_Ver2] を選択して [OK] をクリックします。



プレビューの表示色がプロファイルを適用した状態に更新されます。

5. 確認終了後は、印刷データを保存せずにAdobe Illustratorを終了します。

Adobe Illustratorを終了するとプロファイルの指定は解除されます。

印刷データを保存するとエプソン専用広色域入力プロファイルが埋め込まれ、元の状態から変更されます。

よく使うジョブ設定の作成（クイックセット）



クイックセットは、ジョブ設定一式を保存したものです。定型業務など日ごろ同じ設定を頻繁に使うときは、クイックセットを作成しておくことで都度ジョブ設定をする必要がなく効率的です。

作成したクイックセットは、ホットフォルダーに設定したり、ジョブ追加時のデフォルト設定として使用したりできます。

ホットフォルダーの詳細は、以下をご覧ください。

➔ [「決められた設定で印刷する（ホットフォルダー印刷）」16ページ](#)




クイックセットの作成手順

1. ツールメニュー- [プリセット管理] -  (クイックセット) -  (追加) の順でクリックします。

2. クイックセット名を入力して [OK] をクリックします。

設定ダイアログボックスが表示されます。

3. ジョブ設定を行います。

必要に応じてタブを選択して切り替えます。設定内容は、ジョブ設定メニューの  (基本設定) と  (レイアウト設定)、 (カラー設定) での設定に準じます。

各設定内容の詳細は、以下をご覧ください。

基本設定 ➔ [「ジョブの基本設定」24ページ](#)


レイアウト設定 ➔ [「レイアウトの設定」27ページ](#)

カラー設定 ➔ [「カラー設定」48ページ](#)

- **クイックセット限定の機能**

以下の点はクイックセット限定の設定となります。

- [色置換] - [カラーコレクションの有効グループを使用する]

チェックを外すと、カラーコレクションの全てのグループからジョブ設定メニューの  (色置換) で出力色の置換で使いたいグループを選択できます。選択するには、一覧でチェックを付けて有効にします。カラーコレクションでの有効/無効の設定に関わらずクイックセットでの設定が優先されます。

- [その他] - [追加したジョブの状態設定]

追加したジョブを保留ジョブにするときは [保留] を選択します。保留ジョブにしていると自動印刷時に印刷対象になりません。

- [その他] - [メモ]

設定の覚え書きを入力できます。

4. 設定が完了したら [OK] をクリックします。


リストに追加したクイックセットが表示されます。

クイックセットの編集


一度作成したクイックセットを変更したいとき

リストで変更するクイックセットを選択して  (編集) をクリックします。

一度作成したクイックセットを元にして別のクイックセットを作成するとき

リストで元にしたクイックセットを選択して  (複製) をクリックします。
複製が作成されますので、複製のクイックセットを編集します。

不要なクイックセットを削除するとき


リストで不要なクイックセットを選択して  (削除) をクリックします。

作成したクイックセットを流用する

追加作成したクイックセットをファイルに保存して、別のコンピューターにインストールしている本ソフトウェアで読み込んで共通のジョブ設定で印刷できます。

ここでは、保存 (エクスポート) と読み込み (インポート) の手順を説明します。

クイックセットのエクスポート

1. ツールメニュー- [プリセット管理] -  (クイックセット) の順でクリックします。
2. リストで流用するクイックセットを選択して右クリックし、表示されたメニューで [エクスポート] を選択します。
3. ファイルの保存先を選択して保存します。
保存したファイルは拡張子が(.epqs)となります。

クイックセットをインポートして追加する

インポート前の準備

インポートする側に、エクスポートしたクイックセットと一致する以下のデータが存在しないと、その部分はシステムクイックセット (メーカー設定用のクイックセット) の設定に自動で置き換わります。



- メディアのプリント情報
- カラーコレクションで有効にしているグループ
- 任意に用意した入力プロファイル

エクスポートしたクイックセットと全く同じ状態でクイックセットをインポートするには、事前に以下を行いエクスポート時と同じ状態にしてからクイックセットをインポートします。

- プリント情報のインポート
エクスポートしたクイックセットの [基本設定] - [メディア名] で設定しているメディアのプリント情報がインポート側に存在しないときは、事前にインポートします。
プリント情報のエクスポートとインポートの詳細は、以下をご覧ください。
➔ [「作成したプリント情報を流用する」60ページ](#)
- カラーコレクションのグループのインポート
エクスポートしたクイックセットの [色置換] で有効にしたカラーコレクションのグループがインポート側に存在しないときは、事前にインポートします。
カラーコレクションのエクスポートとインポートの詳細は、以下をご覧ください。
➔ [「特色をエクスポートする」43ページ](#)
➔ [「特色ファイルをインポートする」42ページ](#)
- 任意に用意した入力プロファイルを指定フォルダーに保存する
エクスポートしたクイックセットの [カラー設定] - [プロファイル] で任意に用意した入力プロファイルを選択しているときは、同じ入力プロファイルをインポート側の指定フォルダーに、事前に保存します。
指定フォルダーは以下の通りです。
 - CMYKの場合
C:¥ProgramData¥EPSON¥Epson Edge Print P1¥Color¥Common¥icc¥cmyk
 - RGBの場合
C:¥ProgramData¥EPSON¥Epson Edge Print P1¥Color¥Common¥icc¥rgb

インポートの手順


以下の手順でクイックセットファイル(.epqs)をインポートして追加できます。

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (クイックセット)  (インポート) の順でクリックします。
クイックセット インポートウィザードが始まります。
2. インポートするファイルを選択します。
3. [完了] をクリックします。
リストにインポートしたクイックセットが追加されます。

クイックセットをジョブ設定のデフォルトに設定する

追加したクイックセットは、ホットフォルダーで使う以外にジョブリストにジョブ追加したときの初期設定としても使えます。

デフォルトに設定する手順は、以下の通りです。


1. リストで目的のクイックセットを選択して  (デフォルト) をクリックします。または、目的のクイックセット名上で右クリックメニューを表示して [デフォルト] を選択します。
デフォルトに設定されたクイックセット名の左に✓が表示されます。

2. デフォルト設定を別のクイックセットに変更するときは、リストで変更したいクイックセットを選択して（デフォルト）をクリックします。✓

ジョブ追加後にクイックセットを変更する

ジョブリストにジョブを追加すると、デフォルトに設定したクイックセットが初期設定されますが、設定されたクイックセットをジョブ追加後に変更できます。

ジョブ追加後にクイックセットを変更する手順は、以下の通りです。

1. ジョブリストでクイックセットを変更するジョブ（画像）を選択します。
2. ジョブ設定メニューで （ジョブ情報）をクリックします。
設定エリアがジョブ情報に変わります。
3. [クイックセット] で変更後のクイックセットを選択します。
選択したクイックセットの設定がジョブに反映されます。

参考 クイックセット変更後に設定エリアでジョブの設定を変更すると、[クイックセット] は [カスタム] に変わります。

使用するメディアに応じたプリント情報を作成する




用紙情報を使うと、かんたんに市販のメディアに最適な印刷をすることができます。

用紙情報がないメディアを使用するときは、本ソフトウェアがあらかじめ用意している汎用プリント情報から類似メディアタイプを選択して使用するメディア用に編集することでプリント情報ファイルを作成できます。

使用するメディアのメーカーからメディアプロフィールを入手していれば、それをお使いいただけます。デバイスリンクプロフィールにも対応しています。

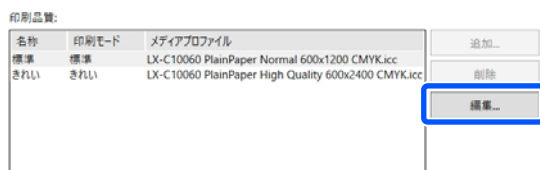
用紙情報のプリント情報を元に作成する

用紙情報のプリント情報を元にして使用するメディア用のプリント情報を作成するには、目的のプリント情報の複製を作成します。用紙情報のプリント情報を直接編集することはできません。

1. ツールメニュー- [プリセット管理]  (プリント情報の管理) の順でクリックします。
2. リストで複製元のプリント情報のメディア名を選択して  (複製) をクリックします。
選択したメディア名の下に複製が作成されます。
3. 手順2で作成したプリント情報を選択して  (編集) をクリックします。
編集ダイアログボックスが表示されます。必要に応じて設定を編集します。
 - 印刷品質
通常は、適切な印刷モードが各モードに割り当てられています。
印刷品質は、編集できます。
詳細は、以下をご覧ください。
➔ [「印刷品質の編集」 58ページ](#)
4. 設定が完了したら [OK] をクリックします。

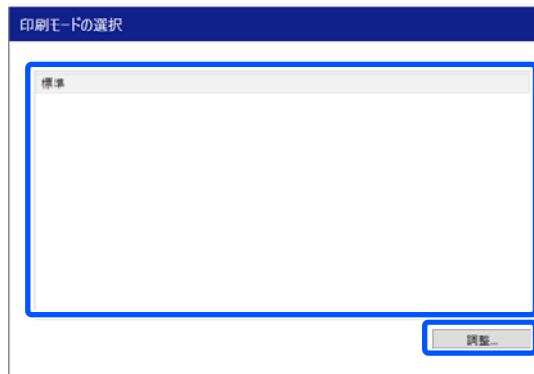
印刷品質の編集

1. 変更時は、リストで変更する印刷品質を選択して [編集] をクリックします。



2. ウィザードに従って、印刷品質、印刷モードを選択します。
印刷モードを選択して [調整] をクリックするとトーンカーブなどを変更できます。手順3に進みます。

印刷モードを調整しないときは、手順6に進みます。



3. [カラー] で出力色の調整ができます。

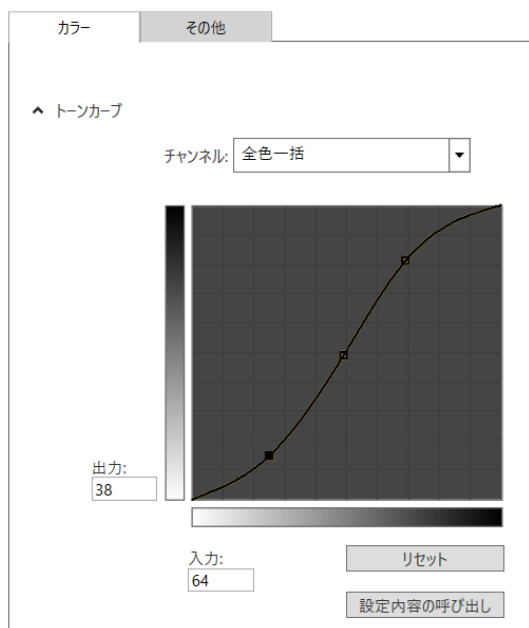
[トーンカーブ] では、出力色の濃度や色合いを微調整できます。

[チャンネル] で調整する色を選択して以下の手順で調整します。[設定内容の呼び出し] をクリックすると、保存されたトーンカーブ設定が呼び出せます。

①トーンカーブの線上をクリックして操作点を設定します。操作点は複数追加できます。不要な操作点は、選択して【Delete】キーを押すと削除できます。

②操作点をドラッグして調整します。[リセット] をクリックすると調整結果を戻せます。

調整した結果は、☰ (基本設定) で調整したメディアと印刷品質を選択するとプレビューエリアに反映されます。



4. [その他] で [入力解像度] を変更できます。



印刷データの画像を本ソフトウェアで処理するときの解像度を選択します。
細かい文字などを高精細に印刷したいときは、数字が大きい方を選択します。

5. 設定が完了したら [OK] をクリックします。
6. [次へ] をクリックしてメディアプロファイルを選択します。
任意に用意したメディアプロファイルを使うときは、[参照] をクリックして、メディアプロファイルの保存先を指定します。
メディアメーカーなどからデバイスリンクプロファイルが提供されているときは、必要に応じて [拡張設定] をクリックして設定できます。




7. 必要に応じて名称の設定を行います。
8. [完了] をクリックします。

作成したプリント情報を流用する

取得、あるいは追加作成したプリント情報をファイルに保存して別のコンピューターにインストールしている本ソフトウェアで読み込んで流用できます。
ここでは、保存（エクスポート）と読み込み（インポート）の手順を説明します。



プリント情報のエクスポート

お使いの機種によっては、プリント情報のエクスポートに対応していません。

1. ツールメニュー- [プリセット管理] -  (プリント情報の管理) の順でクリックします。
2. リストで流用するプリント情報のメディア名を右クリックし、表示されたメニューで [エクスポート] を選択します。
プリント情報のエクスポートに対応していない機種は、[エクスポート] が表示されません。
3. ファイルの保存先を選択して保存します。
保存したファイルは拡張子が(.epml)となります。

プリント情報をインポートして追加する

以下の手順でプリント情報ファイル(.epml)をインポートして追加できます。

1. ツールメニュー- [プリセット管理] - (プリント情報の管理) - (追加) の順でクリックします。
プリント情報追加ウィザードが始まります。

2. [ファイルをインポートして追加] を選択して [次へ] をクリックします。

3. [参照] をクリックしてファイルが保存されている先を指定し、目的のファイルをインポートします。

4. [次へ] をクリックします。

本ソフトウェアでエクスポートしたプリント情報ファイル(.epml)をインポートしたときは、コピーの必要がないためファイル名がグレーアウトし選択できません。

コピーするときは、[プリンターにメディア設定値をコピーする] にチェックを付けて手順5に進みます。

コピーしないときは、手順6に進みます。

5. コピー元のファイルを選択して [コピー先の指定] をクリックします。

選択しているプリンターに登録されているメディア設定 (1~30) が表示されます。メディア設定値のコピー先を選択して [OK] をクリックします。

空欄の番号を選択すると追加されます。既に登録済みの番号を選択すると上書きされます。

複数のファイルをインポートしたときは、コピー元ファイルの選択とコピー先のメディア設定番号の選択を繰り返して、コピーしたいメディア設定値を全てコピーします。

6. [完了] をクリックします。

リストにインポートしたプリント情報が追加され、[設定内容] にプリント情報の内容が表示されます。

こんなときには

メディアサイズを作成したいとき（カスタムメディアサイズ）

以下の手順でカスタムメディアサイズの作成をします。以降、ジョブ設定メニューの☰（基本設定）の [メディアサイズ] から選択できるようになります。


1. ツールメニュー- [プリセット管理] - ⋮（オプション設定）の順でクリックします。
2. [カスタムメディアサイズ設定] をクリックします。
カスタムメディアサイズ設定ダイアログが表示されます。
3. +（追加）をクリックするとリストに [カスタムメディアサイズ] が追加されますので、任意の名称に変更します。
4. サイズを入力します。

グラデーションをより滑らかに印刷したいとき

以下の設定は、データ形式がPDF/EPS/PSのときに限り有効です。

データ形式がPDF/EPS/PSの印刷データを印刷したときに、画像のグラデーション部分に濃淡の縞（バンディング）が生じることがあります。

以下の手順で [ビット深度] を確認して [8bit] が設定されているときは、[16bit] に変更するとグラデーションをより滑らかな階調表現で印刷できます。

1. ツールメニュー- [環境設定] - （RIPサーバー設定）の順にクリックします。
2. [RIPオプション] の [ビット深度] で [16bit] を選択します。
3. 設定が完了したら [適用] をクリックします。

画像に含まれる細い線が印刷されないとき


細い線を含む画像の印刷結果で線が印刷されないときは、ジョブ設定メニューの☰（基本設定）で [入力解像度] を高い値に変更して再印刷してください。

➡ [「ジョブの基本設定」24ページ](#)

データ形式がTIFFのときは、上記の設定に加えてジョブ設定メニューの☰（基本設定）で [画像の補間方法] を [バイキュービック] に変更してください。

表示言語・長さ単位を変更したいとき


本ソフトウェアの画面に表示する言語や長さ単位を変更できます。

1. ツールメニュー- [環境設定] -  (一般) の順でクリックします。
2. [言語] で変更後の言語を選択します。
3. [長さ単位] で変更後の単位を選択します。
4. 設定が完了したら [適用] をクリックします。

記憶装置の使用容量を変更したいとき

RIP済みデータの保持先の容量を変更できます。

また、記憶装置の容量が残り少なくなったときの処理方法も設定できます。

1. ツールメニュー- [環境設定] -  (RIPサーバー設定) の順でクリックします。
2. [データ保存] の [最大容量] で容量を設定します。
3. 記憶装置の容量が残り少なくなったときの処理方法は、[ニアフル時の動作] で選択します。
[通知] 選択時：容量がいっぱいに近づくとエラーメッセージを表示して通知します。
[古いジョブから削除] 選択時：容量がいっぱいになると古いデータが自動で削除されます。
4. 設定が完了したら [適用] をクリックします。



管理するプリンターの登録・登録解除をしたいとき

本ソフトウェアでは、4台まで管理するプリンターを登録できます。

複数台のプリンターを登録したときは、画面下のタブで作業するプリンターを選択します。

登録と変更

登録手順

1. ツールメニュー- [環境設定] -  (プリンターの登録管理) -  (登録) の順でクリックします。
接続されているプリンターで本ソフトウェアに未登録のプリンターのリストが表示されます。
エプソン製のプリンターでも、本ソフトウェアが対応していないモデルは表示されません。

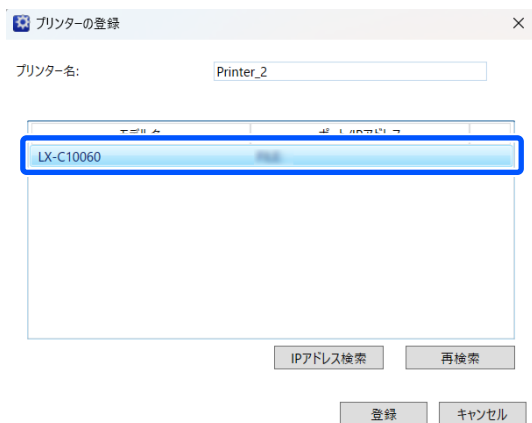
【IPアドレス検索】をクリックして直接IPアドレスを入力して検索することもできます。

参考 異なる機種プリンターを登録するとき

リストには、本ソフトウェアのインストール時に選択したモデル（機種）のプリンターが表示されます。インストール後に使用する機種を追加するときは、以下をご覧になり追加するモデルの機種情報などをインストールします。以降、リストに対応機種として表示されます。

➔ [「インストール後に使用する機種を追加したいとき」65ページ](#)

2. リストで目的のプリンターを選択します。



【プリンター名】に表示された名称が、本ソフトウェアでのプリンターの登録名としてメイン画面のプリンター切り替えタブに表示されます。必要に応じて名称を変更します。

3. 【登録】をクリックします。

4. プリンターにオプションの給紙装置やフィニッシャーを取り付けている場合は、【オプションの登録】をクリックします。オプションの取り付けがなければ、【OK】をクリックして終了します。

5. 【オプションの登録】画面で、プリンターに取り付けているオプション品の組み合わせを選択します。SRA3機能拡張を使用されている場合は、【SRA3機能拡張】にチェックを入れます。


オプション品の登録を行うと、ジョブ設定メニューの☰（基本設定）で【給紙方法】と【排紙先】から登録したオプション品が選択できるようになります。

6. 【OK】をクリックします。

登録内容の変更

登録した後でプリンターの登録情報を変更できます。変更できる設定は以下の通りです。

- 登録名
全ての機種プリンターで変更できます。
- オプション情報
オプションの給紙装置やフィニッシャーを装着可能なプリンターで変更できます。

変更方法は、リストで変更対象のプリンターを選択して  (変更) をクリックし、設定を変更して [OK] をクリックします。

登録解除手順



プリンターの登録解除を行うと、そのプリンターを選択して作業した以下の内容も全て消去されます。

- ジョブリスト上のジョブ
- 印刷済みジョブリスト上のジョブ
- 取得・追加したプリント情報
- 追加したクイックセット

また、プリンターの登録解除を行うとWindowsの [デバイスとプリンター] ウィンドウからも削除されます。登録解除するプリンターをホットフォルダーの出力プリンターに設定しているときは、登録解除をする前にホットフォルダーを登録解除してください。

ホットフォルダーを登録解除しないと、プリンターを登録解除できません。

➔ [「ホットフォルダーの登録解除」17ページ](#)

1. ツールメニュー- [環境設定]  (プリンターの登録管理) の順でクリックします。
2. リストで登録解除するプリンターを選択して  (登録解除) をクリックします。または、登録解除するプリンターアイコン上で右クリックメニューを表示して [登録解除] を選択します。
3. 確認のメッセージが表示されるので [はい] をクリックします。

インストール後に使用する機種を追加したいとき

以下の手順で追加するモデルの機種情報などをインストールします。



以下の作業は、ライセンスの登録解除や再登録は不要です。

重要 追加するモデルのプリンターとRIPサーバー（本ソフトウェアがインストールされているコンピューター）を接続する前に、機種情報ファイルをインストールしてください。

1. 本ソフトウェアのダウンロードサイト (<https://support.epson.net/epp1/>) から追加するモデルの機種情報ファイルをダウンロードして、RIPサーバーの任意の場所に保存します。
2. 本ソフトウェアを終了します。
3. 保存した機種情報ファイルを解凍し、機種情報ファイル (.exe) をダブルクリックしてインストールを実行します。
以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。
4. インストールが完了したら本ソフトウェアを起動してプリンターを登録します。

ライセンスを追加で登録したいとき

プリンターを新たに購入したなどで、途中からライセンスを追加するときは、以下の手順で行います。

1. ツールメニュー- [環境設定] -  (ライセンス管理) -  (追加) の順でクリックします。
ライセンス認証ウィザードが始まりますので、画面の指示に従って操作します。
ライセンス認証ウィザードの詳細は、以下の手順4以降をご覧ください。
プリンターの登録は行われませんので、読み飛ばしてください。
RIPサーバーがインターネットに接続しているとき
➔ [「インターネットに接続しているとき」 67ページ](#)
RIPサーバーがインターネットに接続していないとき
➔ [「インターネットに接続していないとき」 68ページ](#)

RIPサーバーのコンピューターを変更したいとき

RIPサーバーのコンピューターを変更するときは、以下の順で行います。

1. 変更前のRIPサーバーでライセンスの登録削除を行う。



！重要 変更後のコンピューターで本ソフトウェアを使用するには、事前に変更前のRIPサーバーでライセンス登録を削除する必要があります。
万一、使用していたRIPサーバーのコンピューターが故障したなどで、本ソフトウェアのライセンスの登録解除ができないときは、保守サービス実施店にご相談ください。保守サービス実施店の連絡先は、プリンターの『ユーザーズガイド (オンラインマニュアル) 』を参照ください。

2. 変更後のコンピューターに本ソフトウェアをインストールしてライセンス登録する。

ライセンスの削除手順

ライセンスの登録を削除するときは、必ずコンピューターがインターネットに接続されている状態で行ってください。インターネットに未接続の状態では登録削除は行えません。

参考 RIPサーバーがインターネットに接続できない環境にあり、ライセンスの登録解除が必要なときは、保守サービス実施店にご相談ください。保守サービス実施店の連絡先は、プリンターの『ユーザーズガイド (オンラインマニュアル) 』を参照ください。

1. ツールメニュー- [環境設定] -  (ライセンス管理) の順でクリックします。
登録されているライセンスのリストが表示されます。
2. リストで登録を削除するライセンスを選択して  (削除) をクリックします。

3. 確認のメッセージが表示されるので [はい] をクリックします。

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下をご覧ください。アンインストールは、必ずライセンスの登録削除後に行ってください。

➔ [「本ソフトウェアのアンインストール」 73ページ](#)

変更後のコンピューターでライセンスを登録する

ライセンスの登録は、ウィザード形式で行われます。

ライセンスを登録するコンピューターがインターネットに接続されているか、否かで登録手順が異なります。

ライセンス認証には、本ソフトウェアのシリアルナンバーの入力が必要です。シリアルナンバーは、保守サービス実施店にご確認ください。


➔ [「インターネットに接続しているとき」 67ページ](#)

➔ [「インターネットに接続していないとき」 68ページ](#)

参考 ライセンスを複数お持ちのときは、本ソフトウェアにプリンター登録しない分もライセンスを登録することをお勧めします。本ソフトウェアには4台分までライセンスを登録できます。複数のライセンスが登録されている方が快適に本ソフトウェアを使用できます。

インターネットに接続しているとき

1. 変更後のコンピューターに本ソフトウェアをインストールします。

2. デスクトップに作成された  をクリックして本ソフトウェアを起動します。

3. ライセンス認証が必要な旨のメッセージが表示されますので [開始] をクリックします。

ライセンス認証ウィザードが始まります。

参考 [お試し使用] をクリックすると、ライセンス認証を行わずに本ソフトウェアを30日間お試しで使えます。お試し期間中は、本ソフトウェアを起動するたびに使用期限のカウントメッセージが表示されます。メッセージ画面で [ライセンス認証を開始] をクリックしてライセンス認証を行うと、以降正式にお使いいただけます。お試し期間の30日を過ぎると、ライセンス認証が必要になります。

4. [オンライン認証] を選択して [次へ] をクリックします。

5. シリアルナンバーを入力して [次へ] をクリックします。

シリアルナンバーは保守サービス実施店にご確認のうえ、正確に入力してください。

6. [ライセンス認証を完了しました。] と表示されたら [完了] をクリックします。

7. プリンター登録が必要な旨のメッセージが表示されますので [開始] をクリックします。

RIPサーバーと、ネットワークまたはUSBで接続されたプリンターがリストに表示されます。

エプソン製のプリンターでも、本ソフトウェアが対応していないモデルは表示されません。

[IPアドレス検索] をクリックして直接IPアドレスを入力して検索することもできます。

8. リストで目的のプリンターを選択します。




リストで選択したプリンターの登録名が [プリンター名] に表示されます。登録名を変更したいときは、変更後の名称を入力してください。

9. [登録] をクリックします。

プリンターが登録されると本ソフトウェアのメイン画面が表示され使用開始できます。

インターネットに接続していないとき

1. 変更後のコンピューターに本ソフトウェアをインストールします。

2. デスクトップに作成された  をクリックして本ソフトウェアを起動します。

3. ライセンス認証が必要な旨のメッセージが表示されますので [開始] をクリックします。

ライセンス認証ウィザードが始まります。

参考 [お試し使用] をクリックすると、ライセンス認証を行わずに本ソフトウェアを30日間お試しで使えます。お試し期間中は、本ソフトウェアを起動するたびに使用期限のカウントメッセージが表示されます。メッセージ画面で [ライセンス認証を開始] をクリックしてライセンス認証を行うと、以降正式にお使いいただけます。お試し期間の30日を過ぎると、ライセンス認証が必要になります。

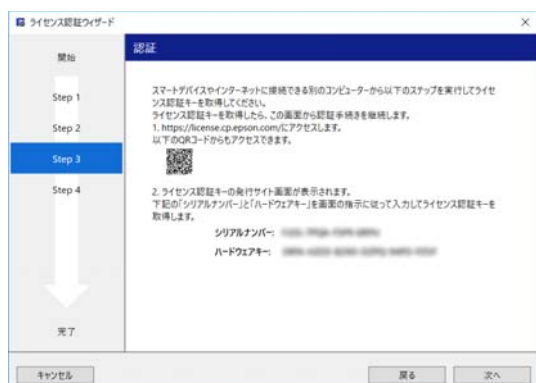
4. [オフライン認証] - [次へ] の順でクリックします。

5. シリアルナンバーを入力して [次へ] をクリックします。

シリアルナンバーは保守サービス実施店にご確認のうえ、正確に入力してください。

[次へ] をクリックすると、画面にURLとシリアルナンバー、ハードウェアキーが表示されます。

このままの状態手順6に進みます。



6. インターネット接続ができる以下のどれかの機器で下記のURLにアクセスします。

- スマートフォン
- タブレット
- コンピューター

<https://license.cp.epson.com/>



7. ライセンス認証キーの発行サイト画面が表示されたら、【開始】をクリック（またはタップ）します。

8. シリアルナンバーとハードウェアキーを入力します。

手順5の操作で表示された画面に表示されているシリアルナンバーとハードウェアキーを正しく入力します。

9. 【発行】をクリック（またはタップ）します。

認証が完了するとライセンス認証キーが表示されます。

この認証キーをRIPサーバーのライセンス認証ウィザードで入力します。スマートフォンやタブレットを使用しているときは、スクリーンショットを保存するかそのままの状態手順10に進みます。

コンピューターを使用しているときは、間違えないようにメモを取ってください。

複数のライセンス認証を行うときは、続けて認証キーの発行作業を行えます。【引き続き、ライセンス認証キーの発行を行う】をクリック（またはタップ）して手順8と9を繰り返します。

10. RIPサーバーのライセンス認証ウィザードの画面（手順5の操作で表示された画面）で【次へ】をクリックします。

ライセンス認証キー入力画面になります。

11. 手順9で表示されたライセンス認証キーを入力して [次へ] をクリックします。

ライセンス認証キーの発行サイトで複数の認証キーを一括して発行処理したときは、ハードウェアキーと対応する認証キーを間違えないように入力してください。

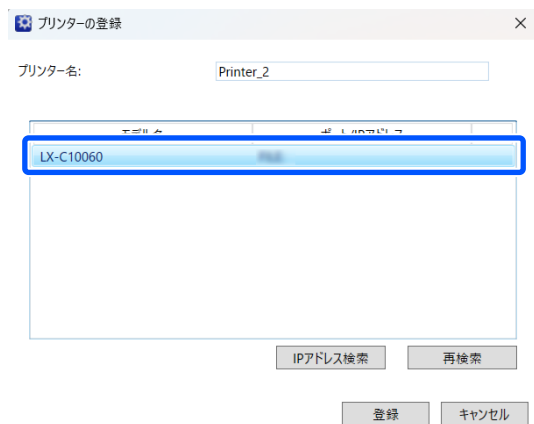
12. [ライセンス認証を完了しました。] と表示されたら [完了] をクリックします。

13. プリンター登録が必要な旨のメッセージが表示されますので [開始] をクリックします。

RIPサーバーと、ネットワークまたはUSBで接続されたプリンターがリストに表示されます。エプソン製のプリンターでも、本ソフトウェアが対応していないモデルは表示されません。

[IPアドレス検索] をクリックして直接IPアドレスを入力して検索することもできます。

14. リストで目的のプリンターを選択します。



リストで選択したプリンターの登録名が [プリンター名] に表示されます。登録名を変更したいときは、変更後の名称を入力してください。

15. [登録] をクリックします。

プリンターが登録されると本ソフトウェアのメイン画面が表示され使用開始できます。

バックアップとリストア

本ソフトウェアの設定（登録プリンターを含む）を全てバックアップファイルにして保存できます。

万一、本ソフトウェアをインストールしているコンピューターが破損した場合でも、本ソフトウェアをインストールした新しいコンピューターでバックアップファイルをリストアすれば、以前の設定を引き継いで使用できます。

定期的にバックアップファイルを保存することをお勧めします。

参考 ジョブリストや印刷済みジョブリストのジョブデータはバックアップファイルに保存されません。ジョブデータはジョブの保存（エクスポート）機能を利用して別ファイルに保存してください。

➔ [「ジョブデータをファイルに保存する」 22ページ](#)

バックアップ

1. ツールメニュー- [バックアップとリストア] の順でクリックします。
バックアップとリストアウィザードが始まります。
2. バックアップを選択して [次へ] をクリックします。
3. バックアップファイルの保存先を選択して [次へ] をクリックします。
4. ファイルの保存先を選択して保存します。
保存したファイルは拡張子が(.dat)となります。

リストア

リストア時のご注意

リストアをする前に、以下の点をご確認ください。

- リストアをすると、現在本ソフトウェアに設定されている状態がバックアップ時の状態に全て変更されます。
- リストアをすると、現在ジョブリストに読み込まれているジョブや印刷済みジョブリストのジョブは全て解除されます。
- インストールしているプリンターがバックアップ時と異なっているとリストアできません。
新しいコンピュータに本ソフトウェアをインストールする際は、以前と同様のプリンターの機種（モデル）を選択してください。本ソフトウェアインストール時に漏れていたプリンターの機種（モデル）があるときは、機種追加をしてください。
➔ [「登録手順」63ページ](#)

リストアの手順

1. ツールメニュー- [バックアップとリストア] の順でクリックします。
バックアップとリストアウィザードが始まります。
2. リストアを選択して [次へ] をクリックします。
3. リストアするバックアップファイルが保存されている先を指定し、目的のファイルを開きます。
4. 接続されているプリンターの関連付けをします。
バックアップ時とリストア時で接続しているプリンターのポートが同じときは、自動で関連付けが完了します。[次へ] をクリックして手順7に進みます。
接続しているポートが異なっているときは、[(未設定)] と表示されます。手動で関連付けをするため手順5に進みます。

5. [(未設定)] と表示されているプリンターを選択して [登録] をクリックします。
接続されているプリンターで本ソフトウェアに未登録のプリンターのリストが表示されます。
6. プリンターを選択して [登録] をクリックします。
リストで登録するプリンターを選択します。
[IPアドレス検索] をクリックして直接IPアドレスを入力して検索することもできます。
7. リストアが完了したら [完了] をクリックします。

本ソフトウェアのアップデート

本ソフトウェアは、随時更新を行い利便性の向上や機能強化をしています。
本ソフトウェアを使用中に、[新しいバージョンのEpson Edge Print P1がご利用いただけます。] と表示されたら、以下の手順で最新のソフトウェアにアップデートしてください。[以下の機種情報ファイルも新しいバージョンがご利用いただけます。] と表示されたときは、表示されたモデルの機種情報ファイルもアップデートしてください。

重要 アップデート中は、RIPサーバーの電源を切らないでください。

1. 本ソフトウェアのダウンロードサイト (<https://support.epson.net/eepp1/>) の [Epson Edge Print P1インストーラー/アップデーター] で [ダウンロード] をクリックして、RIPサーバーの任意の場所にファイルを保存します。
機種情報ファイルもアップデートするときは、手順2に進みます。
機種情報ファイルをアップデートしないときは、手順3に進みます
 2. [機種情報ファイル] で、アップデートを通知されたモデルの [ダウンロード] をクリックして、RIPサーバーの任意の場所に機種情報ファイルを保存します。
 3. 本ソフトウェアを終了します。
 4. 手順1で保存したファイルを解凍し、EEPSetup.exeをダブルクリックしてインストールを実行します。
以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。
- 参考** 使用していたバージョンのアンインストールは不要です。最新のソフトウェアをインストールして上書きするとアップデートされます。
5. 手順2で保存した機種情報ファイルを解凍し、機種情報ファイル (.exe) をダブルクリックしてインストールを実行します。
以降は画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

本ソフトウェアのアンインストール

！重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

1. 本ソフトウェアのアンインストールを行う前に、本ソフトウェアに登録しているライセンスを全て削除します。
ライセンスが登録されたままで本ソフトウェアをアンインストールすると、途中でエラーとなりアンインストールを実行できません。
➡ [「ライセンスの削除手順」 66ページ](#)
2. Windowsのスタートボタン- [設定] の順にクリックします。
3. 画面左側のメニューから [アプリ] をクリックします。
4. [アプリと機能]（または [インストールされているアプリ]）をクリックします。
5. 一覧から [Epson Edge Print P1] のメニューボタンをクリックして、[アンインストール] を選択します。

付録

システム条件

本ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2026年4月現在）

対応OS等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。

動作環境

オペレーティングシステム (OS)	Windows 11
CPU	Intel® Core™ i5 3.4GHz以上
空きメモリー領域	8 GB以上
ストレージ (インストール時空き容量)	500 GB以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T
ディスプレイ解像度	1280 x 1024以上

本ソフトウェアをインストールするコンピューターは、Adobe Illustratorなどのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。

また、本ソフトウェアで取り扱うデータは通常でも数GB、複数ページの印刷を行う際は数十GBになることがあります。

このため、ハードディスクの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

本ソフトウェア使用時に推奨する環境は次項をご覧ください。

推奨環境

オペレーティングシステム (OS)	Windows 11
CPU	Intel® Core™ i7-14700 processor以上
空きメモリー領域	32 GB以上
ストレージ (インストール時空き容量)	SSD 1TB以上
通信インターフェイス	Hi-Speed USB Gigabit Ethernet
ディスプレイ解像度	1280 x 1024以上

対応データ形式

以下の形式の印刷データは、動作確認済みです。（2026年4月現在）

対応データ形式は、追加・変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのホームページ（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

対応フォーマット	説明
PS	PostScript Level3
EPS	Encapsulated PostScript リンクされた画像は埋め込んでください。
PDF	PDF2.0まで ただし、パスワードつきは非対応
TIFF	ベースライン/プログレッシブに対応 対応圧縮形式：JPEG/LZW/ZIP/G3/G4 マルチページTIFFに対応 アルファチャンネルは、スキップします。
JPEG	ベースライン/プログレッシブに対応 JPEG2000は非対応
PNG	ベースライン/プログレッシブに対応 アルファチャンネルは、スキップします。
CALS-G4	CALS Type1形式に対応

対応測色器

以下の分光測色器に対応しています。

メーカー名	製品名	備考
エプソン	SD-10	特色の一括調整のスキャン測色では使用できません。 ➔「特色を一括して調整する」44ページ オプションの自動測色ポータブルテーブルも本ソフトウェアに対応しています。自動測色ポータブルテーブルで特色の一括調整を行うときは、スキャン測色のみに対応しています。
X-Rite	i1 Pro3	-
	i1 Studio	特色の一括調整では使用できません。 ➔「特色を一括して調整する」44ページ

本製品で正在している技術

Powered by
Adobe PDF Print Engine